

令和 7 年度

釧路（部）北埠頭高圧受電設備新設等工事

仕様書

第一管区海上保安本部

第1章 工事概要

1. 工事名称

釧路（部）北埠頭高圧受電設備新設等工事

2. 施工場所

北海道釧路市海運町2丁目 北埠頭

3. 履行期限

契約の日から令和7年12月19日まで

4. 工事概要

上記2. 施工場所において、巡視船用陸上電源設備の新設及び、既存設備の撤去を行う。

5. 管理事務所等

【管理部署・本部監督職員】

第一管区海上保安本部 経理補給部経理課 営繕係

所在地：〒047-8560 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

電話：0134-27-0118（内線2226, 2227, 2228）

【現地監督職員】

第一管区海上保安本部 釧路海上保安部

所在地：〒085-0022 北海道釧路市南浜町5-9

電話：0154-22-0118

第2章 一般共通事項

1. 適用事項

本工事は、設計図書及び仕様書に従い、施工するものとする。

2. 設計図書

設計図書とは、図面及び仕様書(現場説明及び現場説明に対する質問回答書を含む)をいう。

設計図書及び工事関係図書を、工事の施工の目的以外で第三者に使用又は閲覧させてはならない。

ただし、使用又は閲覧について、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

3. 疑義に対する協議等

設計図書等に定められた内容又は明示のない箇所に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難もしくは不都合が生じたときは、書面により監督職員と協議すること。

4. 官公署その他への手続き等

工事の着手、施工及び完了にあたり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な手続き等は直ちに行い、生じた費用は受注者が負担すること。

また、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査に必要な資機材、労務等を提供すること。

5. 機材の品質等

使用する材料は、設計図書等に定める品質及び性能を有する新品とする。

なお、新品とは品質及び性能が製造書から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがあるものを除き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。

6. 材料・機器の保管

工所用材料及び機器の保管は、周囲の状況に応じて位置、構造等を定め、特に火気に注意しなければならないものについては関係法規に従い設置すること。

7. 工事現場の安全衛生管理

工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり関係法令等に従ってこれを行う。ただし別に責任者が定められた場合はこれに協力すること。

工事現場においては、常に整理整頓を行い、特に危険箇所の点検を行うなど、事故の防止に努める。

8. 災害及び公害の防止

工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、関係法令等に従い適切に処置するとともに、特に下記の事項を守らなければならない。

- (1) 第三者に災害を及ぼしてはならない。
- (2) 公害の防止に努める。
- (3) 善良な管理者の注意をもってしても、なお災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置については、監督職員と協議する。
- (4) 気象、海上気象の変化に注意し、事故の防止に努める。
- (5) 機械器具等の取り扱いに注意し、事故の防止に努める。

なお、第三者に対して損害を与えた場合は、請負者は適正な補償をしなければならない。

9. 臨機の処置

災害又は公害が発生した場合及び発生する恐れのある場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちに経緯を監督職員に報告すること。

10. 養生・後片付け

在来部分、施工済み部分、未使用材料などで、汚損又は損傷の恐れのあるものは、適切な方法で養生・保護を行うこと。

工事完成に際しては、敷地内及びその周囲の後片付け及び清掃を行うこと。

工事施工場所に損傷を与えた場合は、受注者側で復旧を行い、要した費用は受注者負担とする。

11. 発生材の処理

- (1) 発生材のうち特記により引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ、調書を添えて監督職員に引き渡す。
- (2) 引渡しを要しないものはすべて構外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理する。

1 2. 工程表

着工に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受けること。

1 3. 施工計画書

着工に先立ち、施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。

1 4. 施工

施工は、設計図書及び「12、13」による監督職員の承諾を得たものに従って行うこと。

1 5. 工事写真

工事写真の撮影・整理及び提出方法等詳細は「営繕工事写真撮影要領」（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課）による。

1 6. 竣工検査

他の請負者によって施工される工事との出合となる場合、監督職員の指示に従い関係請負者間において十分に協議を行い、相互に円滑な工事の実施に努めなければならない。

1 7. 竣工検査

- (1) 竣工検査とは、工事の完成の確認をするために、検査職員が行う検査をいう。
- (2) 現場代理人は検査に立ち会い、検査指摘事項については請負者の負担において適切な措置を講じなければならない。

1 8. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置については、第一管区海上保安本部入札・見積者心得を遵守すること。

1 9. その他

- (1) 第一管区海上保安本部入札・見積者心得を遵守すること。
- (2) 請負金額の支払い時期等その他の事項については契約書に基づくものとする

第3章 特記仕様

本工事は本仕様書及び設計図書のほか、国土交通省が定めた「土木工事共通仕様書」、及び「港湾工事標準仕様書」、その他各種標準仕様書の最新版による。

1. 工事内容

工事内容は、図面によるほか下記のとおりとする。

(1) 官給品及び材料、部材等

本仕様及び図面に「官給品」の記載のない材料、部品等は請負者手配とする。

【官給品】

- ・ 高圧受電設備 1 基
- ・ 電源供給盤 1 台
- ・ 接続箱 1 個

官給品の引き渡しについては、10月末～11月上旬に現地引渡であるが、事前に監督職員と十分に打合せを行うこと。

(2) 再利用する機器について

既設高圧受電設備及び電源供給接続盤については、別工事にて再利用するため、基礎から取り外し、監督職員の指示する場所に（図面 01/22 巡視船そうや倉庫敷地内予定）仮置きすること。

2. 動作確認

受注者は正常に高圧受電設備が作動するか動作確認を実施すること。

3. 撤去品等

有価物については、監督職員の指示する場所へ集積するとともに、撤去品発生通知書を提出すること。

その他撤去品等については、監督職員が特に指示する場合を除き、受注者にて関係法令に従い適切に処分すること。

4. その他

- (1) 工事施工日は、監督職員と十分に打ち合わせを行うこと。
- (2) 工事施工に伴う、関係機関への申請及び調整は受注者において行うこと。
- (3) 新設する高圧受電設備については、11月28日までに、船内供給できる状態にすること。
- (4) 工事完了の際は、施工内容を記載した完成図面（出来形図）を作成し、電子納品すること。電子納品する設計図はCADとしファイル形式はjwwとすること。
- (5) 工事完了後は速やかに監督職員に連絡のうえ、検査職員の立会いによる工事

完成検査を受けること。工事完了は、工事完成検査の検査合格をもって完了とする。

5. 電力需給契約業者
北海道電力（株）

6. 自家用電気工作物保守契約業者
一般財団法人 北海道電気保安協会

令和7年度

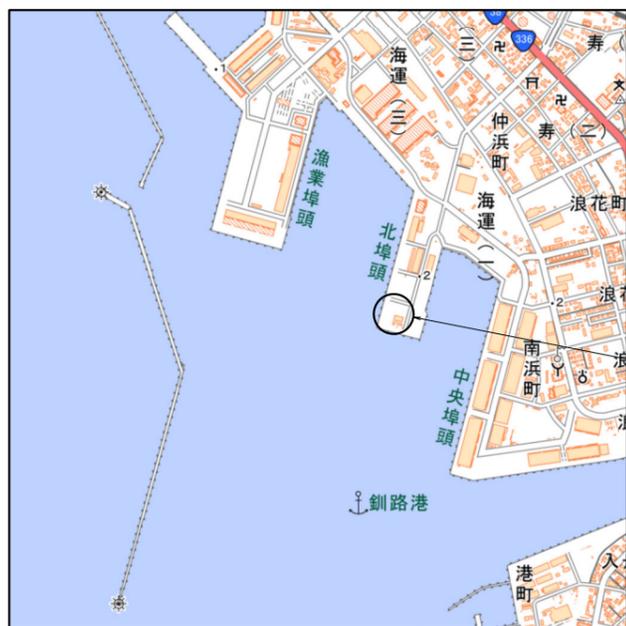
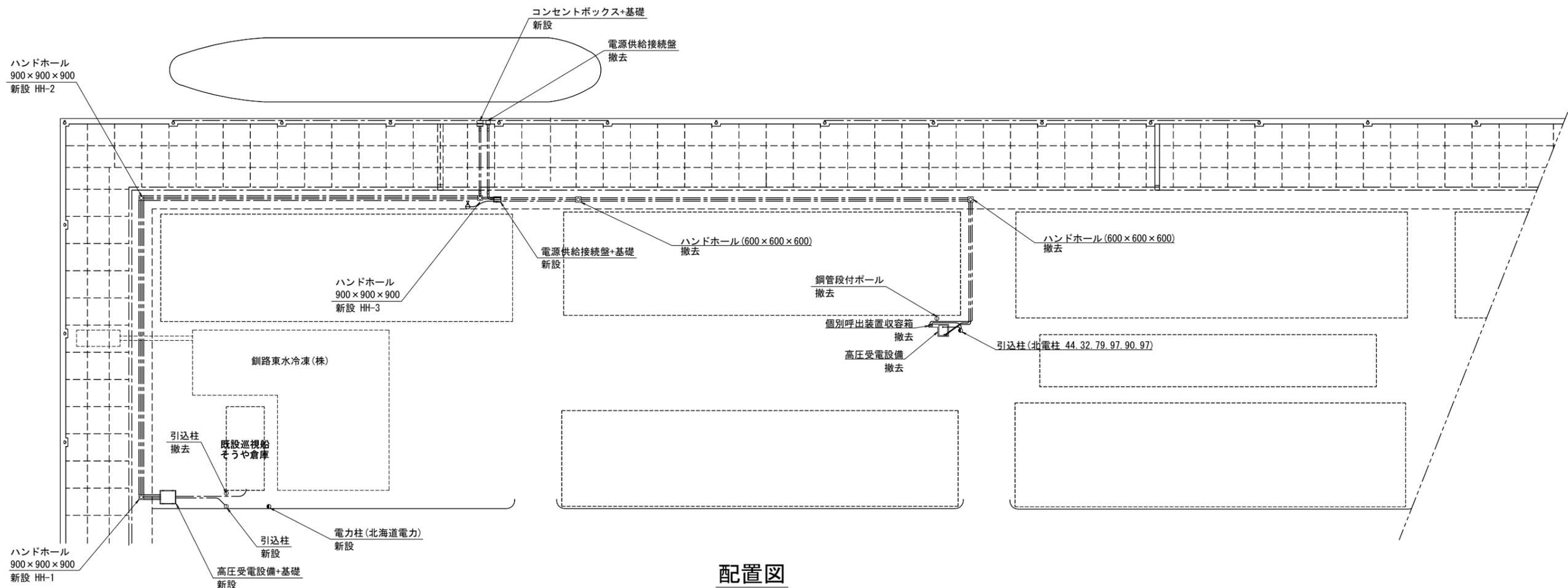
釧路（部）北埠頭高圧受電設備新設等工事

設計図

図面目録

図面番号	図面名称
01	巡視船そうや陸電施設 位置図・配置図
02	巡視船そうや陸電施設 高圧受変電設備 単線結線図
03	引込柱 新設装柱図
04	巡視船そうや陸電施設 新設平面図
05	巡視船そうや陸電施設 新設掘削平面図
06	高圧受電設備 外形図
07	高圧受電設備 基礎形状図
08	高圧受電設備 基礎配筋図
09	高圧受電設備 基礎配筋加工図
10	電源供給接続盤及びコンセントボックス 外形図
11	電源供給接続盤 基礎形状図
12	電源供給接続盤 基礎配筋図
13	コンセントボックス 基礎形状図
14	コンセントボックス 基礎配筋図
15	照明柱 新設詳細図
16	ハンドホール 新設詳細図
17	巡視船そうや陸電施設 撤去平面図
18	巡視船そうや陸電施設 撤去掘削平面図
19	電源供給接続盤・照明灯 撤去詳細図
20	北電柱 撤去装柱図
21	既設引込柱・鋼管段付ポール 撤去図
22	高圧受電設備保護屋根 撤去詳細図

巡視船そうや陸電施設 高压受電設備 位置図・配置図



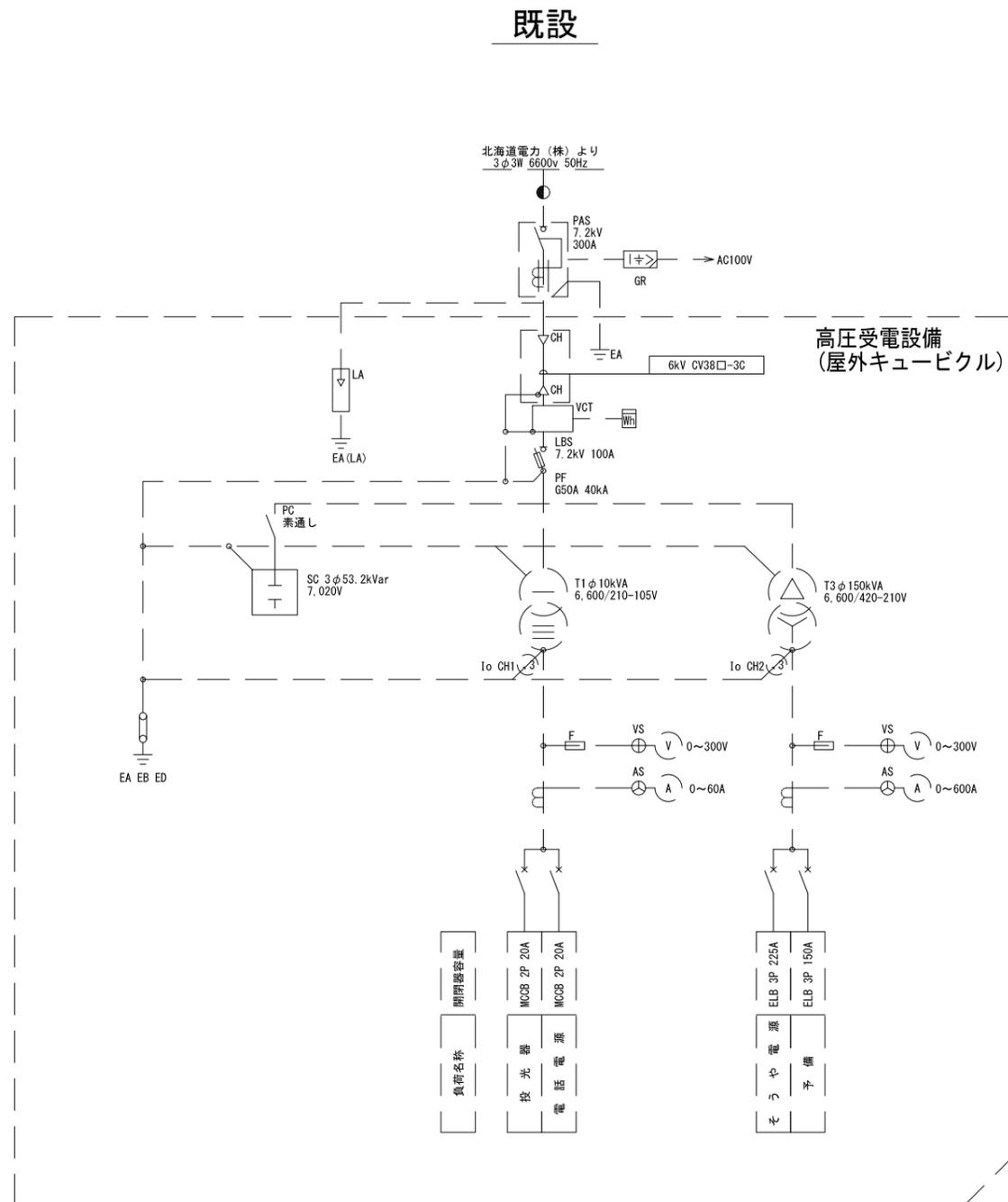
改修概要

新設	撤去
高压受電設備 基礎新設	高压受電設備 撤去
電源供給接続盤 基礎新設	電源供給接続盤 撤去
コンセントボックス 基礎新設	個別呼出装置収容箱 撤去
高压受電設備 取付	ハンドホール 撤去
電源供給接続盤 取付	電源ケーブル 撤去
コンセントボックス 取付	埋設配管 撤去
ハンドホール 新設	鋼管段付ポール 撤去
電源ケーブル 敷設	コンクリートポール 撤去
埋設配管 敷設	
コンクリートポール 新設	

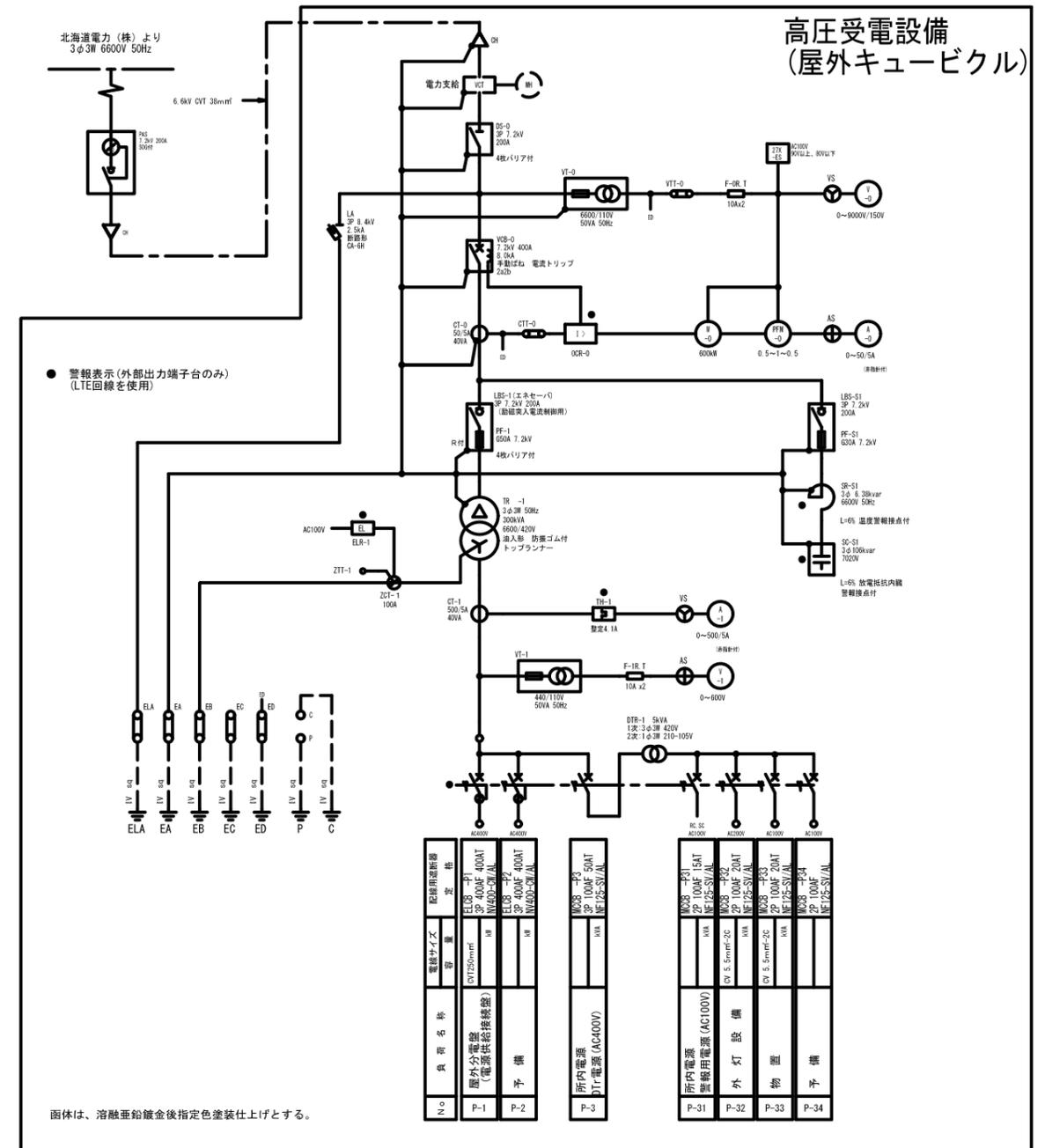
工事名	釧路（部）北埠頭高压受電設備新設等工事		
図面名	巡視船そうや陸電施設 高压受電設備 位置図・配置図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1/400 A3 1/800	図面番号	01/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

巡視船そうや陸電施設 高压受電設備 単線結線図

既設

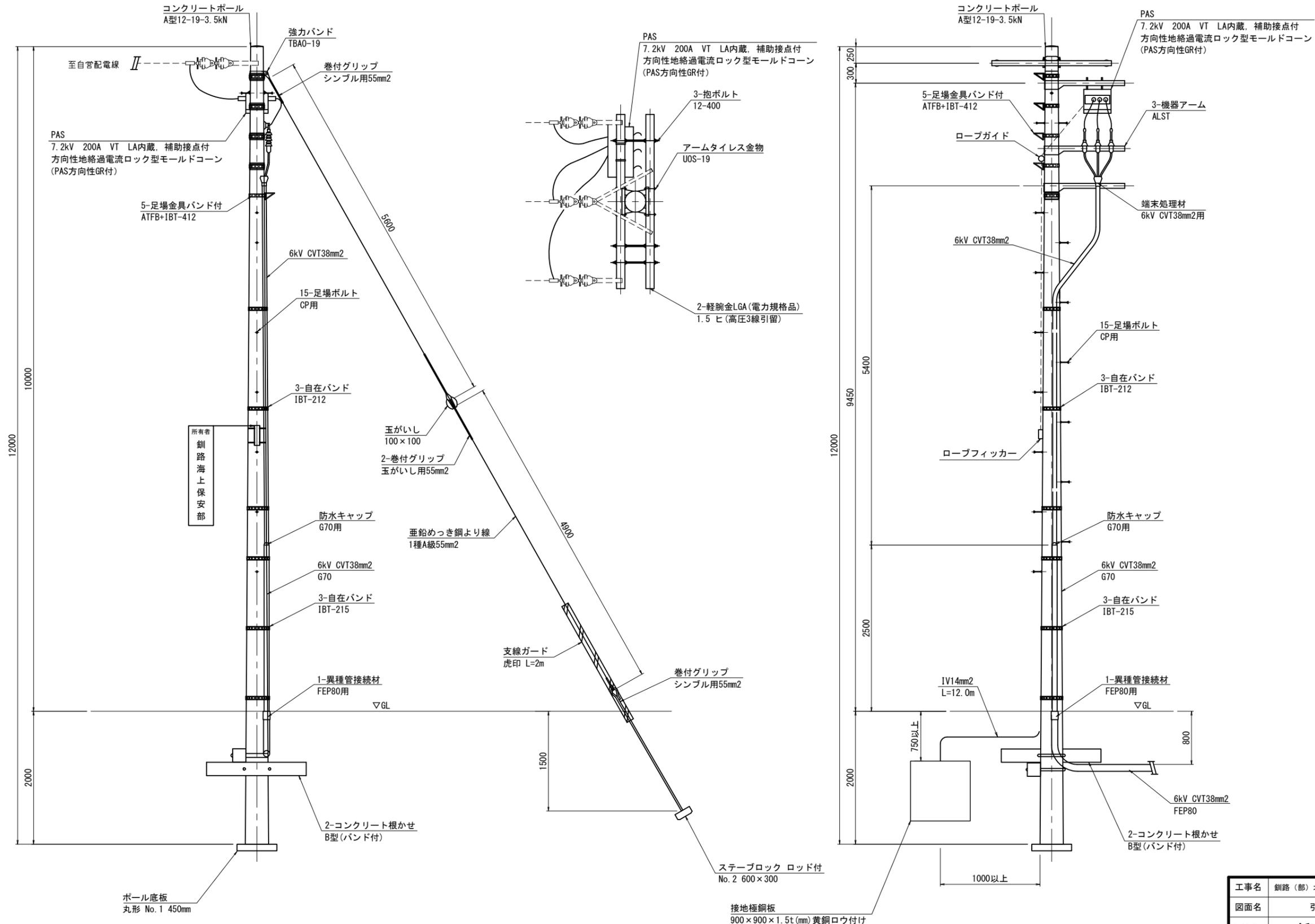


新設



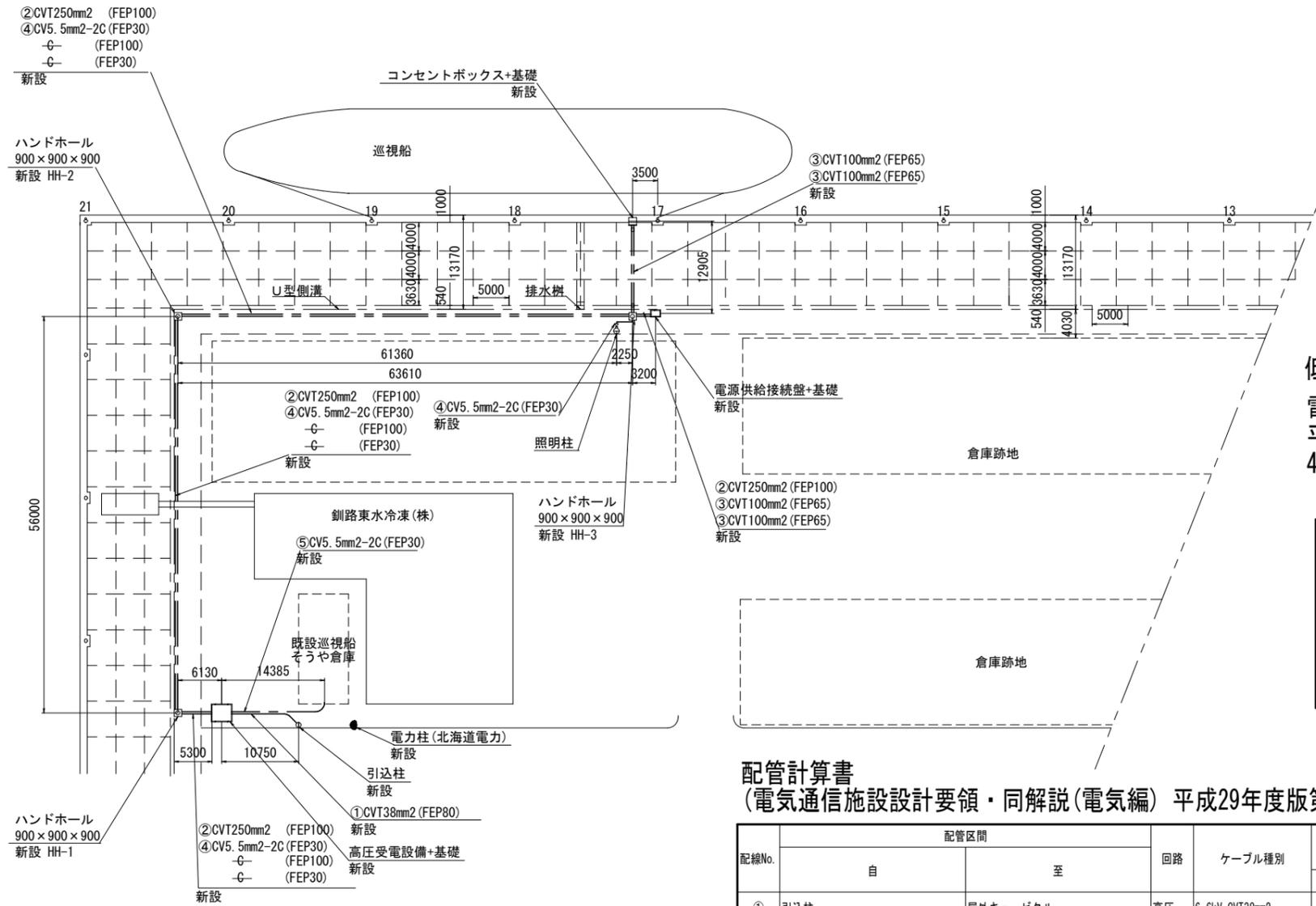
工事名	釧路(部)北埠頭高压受電設備新設等工事		
図面名	巡視船そうや陸電施設 高压受電設備 単線結線図		
作成年月日	令和7年6月27日	縮尺	NON SCALE
図面番号	02/22	会社名	株式会社 通電技術
事業者名	第一管区海上保安本部		

引込柱 新設装柱図



工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	引込柱 新設装柱図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:30 A3 1:60	図面番号	03/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

巡視船そうや陸電施設 新設平面図



低圧ケーブル(CVT)の許容電流・低圧ケーブル(CV)の許容電流
 電気通信施設設計要領・同解説(電気編)
 平成29年度版第6章配電線設備第1節電線路 6-1-1基本方針
 4. 導体サイズの選定(3)電線・ケーブルの許容電流より

管路引入れ敷設		
公称断面積	単心3個より	配線No.
	2孔1条敷設	
CVT60mm2	185 (A)	③
CVT100mm2	250 (A)	
CVT150mm2	320 (A)	
CVT200mm2	380 (A)	
CVT250mm2	430 (A)	

管路引入れ敷設		
公称断面積 (mm2)	2心	配線No.
	4孔4条敷設	
CV2.0mm2-2c	25	④、⑤
CV3.5mm2-2c	35	
CV5.5mm2-2c	45	
CV8mm2-2c	55	
CV14mm2-2c	75	

配管計算書

(電気通信施設設計要領・同解説(電気編) 平成29年度版第6章配電線設備 第1節 6-1-4地中電線路 2. 地中電線路の選定と材料より)

配線No.	配管区間		回路	ケーブル種別	仕上り外径 (mm)	外接円 (mm)	外接円の1.5倍 (mm)	電線管の選定		判定 良・否	備考
	自	至						配管種別 呼称	内径 (mm)		
①	引込柱	屋外キュービクル	高圧	6.6kV CVT38mm2	45	45	67.5	FEP80	81	良	
②	屋外キュービクル	電源供給盤		CVT250mm2	60	60	90	FEP100	102.0	良	
③	電源供給盤	コンセントボックス		CVT100mm2	42	42	63	FEP65	65.0	良	
④	屋外キュービクル	外灯設備	電灯	CV5.5mm2-2C	13.5	13.5	20.25	FEP30	30.0	良	
⑤	屋外キュービクル	物置電灯	電灯	CV5.5mm2-2C	13.5	13.5	20.25	FEP30	30.0	良	

※ケーブル外径が60mm超えの場合は以下、式を適用するものとする。D≥d+30(D:管内径(mm)、d=ケーブル外接円直径(mm))

電圧降下計算書

(電気通信施設設計要領・同解説(電気編) 平成29年度版第6章配電線設備 第1節電線路 6-1-1基本方針 4. 導体サイズの選定 (2) 電圧効果の計算式より)

配線No.	対象 キュービクルなど	対象負荷 機器名称など	電源電圧 AC・DC 電圧(V)	計算式種別 三相・単相 2線式・3線式	電線敷設区間		電線 計算条件(基本式)						電圧降下率(%)				電圧降下 計算結果 e(V)	判定 良・否	
							電線 計算条件(基本式)		電圧降下率(%)										
					自	至	ケーブル種別	電流	こう長	実効抵抗	リアクタンス	負荷の力率	負荷の無効率	2%以下	5%以下	120m以下	200m以下	200m超	7%以下
①	引込柱	屋外Cub					CVT38mm2(※3)												
②	屋外Cub	電源供給盤	AC 400V	三相3線式	屋外Cub	電源供給盤	CVT250mm2	400	0.1257	0.0981	0.0816	0.8 とする	0.6 とする			24.00V以下		11.098V	良
③	電源供給盤	コンセントボックス	AC 400V	三相3線式	電源供給盤	コンセントボックス	CVT100mm2	225	0.0161	0.239	0.0881	0.8 とする	0.6 とする	8.00V以下				1.531V	良
④	屋外Cub	外灯	AC 200V	単相3線式	屋外Cub	外灯設備	CV5.5mm2-2c	20	0.1235	4.34	0.0914	0.8 とする	0.6 とする			12.00V以下		8.711V	良
⑤	屋外Cub	物置電灯	AC 100V	単相3線式	屋外Cub	物置電灯	CV5.5mm2-2c	20	0.0144	4.34	0.0914	0.8 とする	0.6 とする	2.00V以下				1.016V	良

※1 電圧降下計算式(基本式)

- 三相3線式の場合
- 単相2線式の場合
- 単相3線式の場合

$$e = \sqrt{3} \times I \times L (R \times \cos \theta + X \times \sin \theta)$$

$$e = 2 \times I \times L (R \times \cos \theta + X \times \sin \theta)$$

$$e = I \times L (R \times \cos \theta + X \times \sin \theta)$$

※2 力率及び無効率について

- AC 力率について、指定無き場合は「0.8」として計算する。
- AC 無効率について、指定無き場合は「0.6」として計算する。
- DC(直流)計算時、指定無き場合は力率「1.0」、無効率「0.0」として計算する。

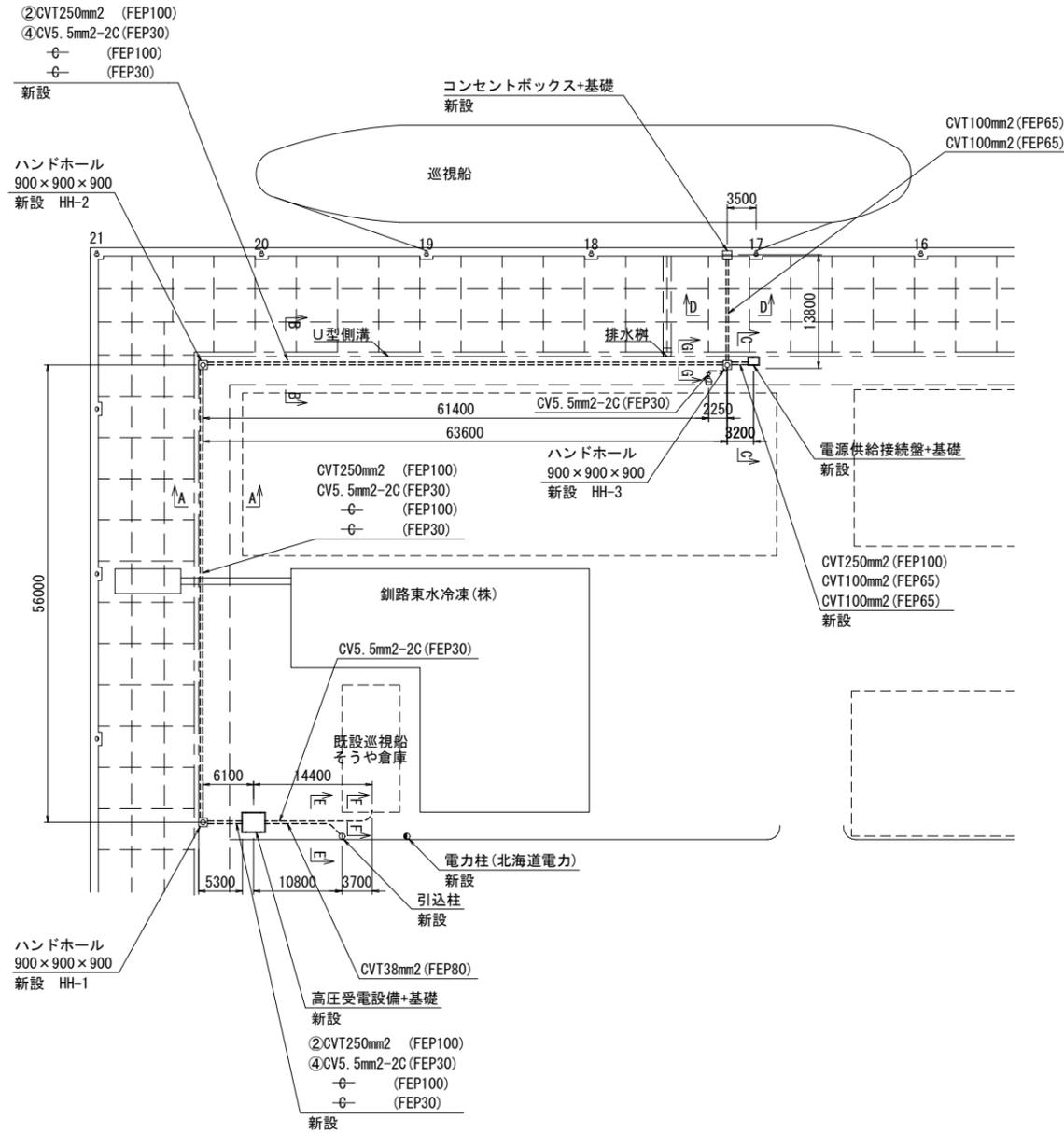
※3 引込柱～高圧受電設備間のケーブル種別について

- 供給側接続事前回答を参照し、ケーブルをCVT38mm2以上であるため、計算上はCVT38mm2としている。

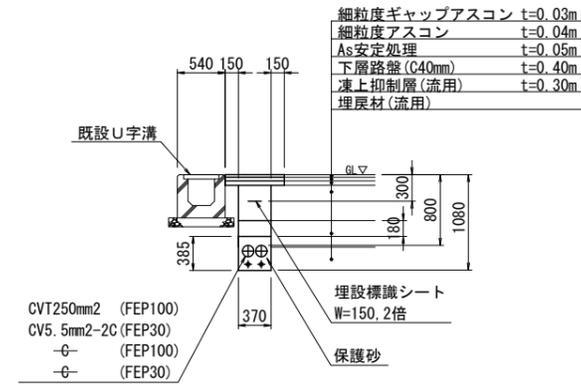
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	巡視船そうや陸電施設 新設平面図		
作成年月日	令和7年6月27日		
縮尺	A1 1:400 A3 1:800	図面番号	04/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

巡視船そうや陸電施設 新設掘削平面図

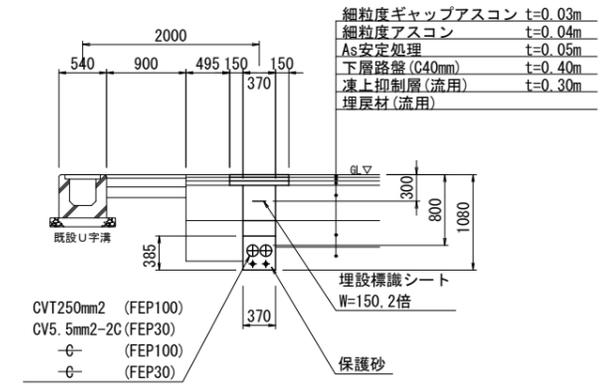
A1 1:400
A3 1:800



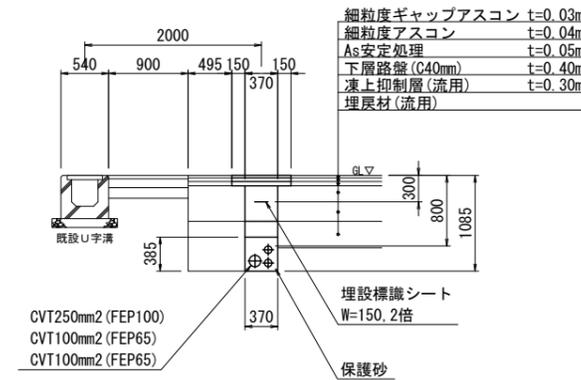
A-A断面 A1 1:40
A3 1:80
アスファルト舗装部(標準部)



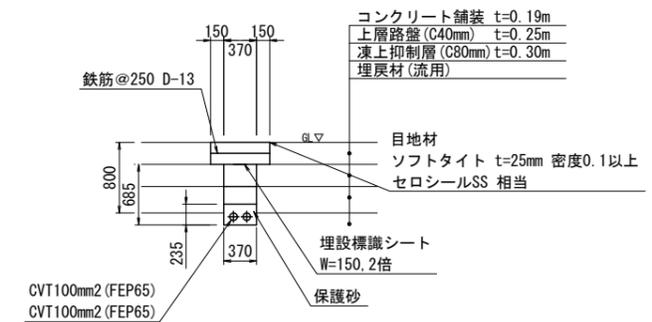
B-B断面 A3 1:80
アスファルト舗装部(標準部)



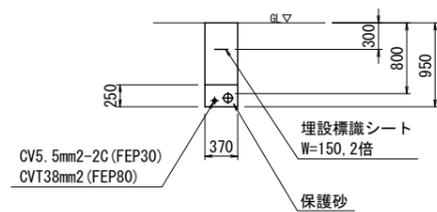
C-C断面 A1 1:40
A3 1:80
アスファルト舗装部(標準部)



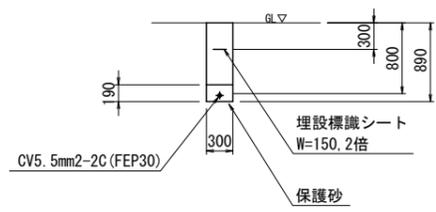
D-D断面 A1 1:40
A3 1:80
コンクリート舗装部



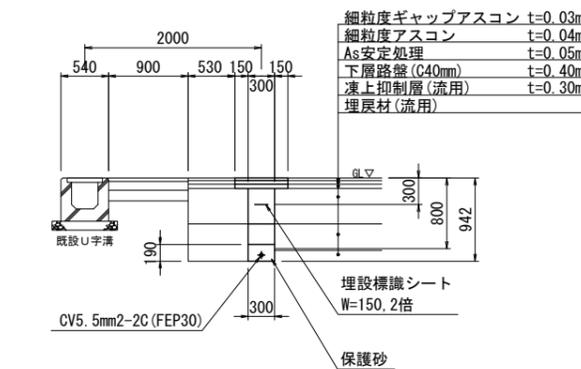
E-E断面 A1 1:40
A3 1:80
受電設備 電源引込部(未舗装部)



F-F断面 A1 1:40
A3 1:80
受電設備 倉庫引込部(未舗装部)



G-G断面 A1 1:40
A3 1:80
アスファルト舗装部(標準部)



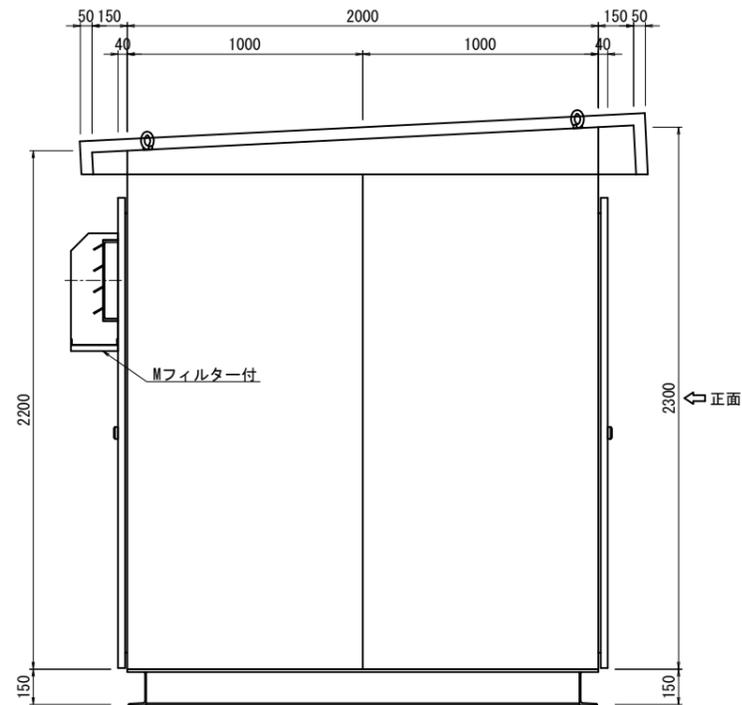
備考

1. 掘削は基本的に手堀により行うこと。重機の使用は発注者指示によること。

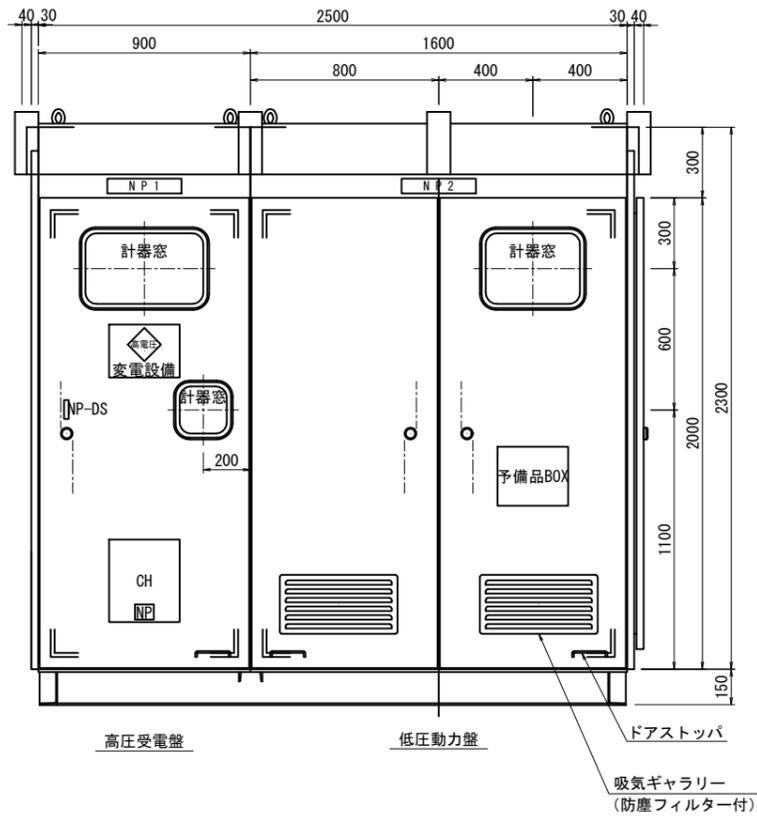
工事名	鋼路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	巡視船そうや陸電施設 新設掘削平面図		
作成年月日	令和 7 年	6 月	27 日
縮尺	図示	図面番号	05/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

高圧受電設備 外形図

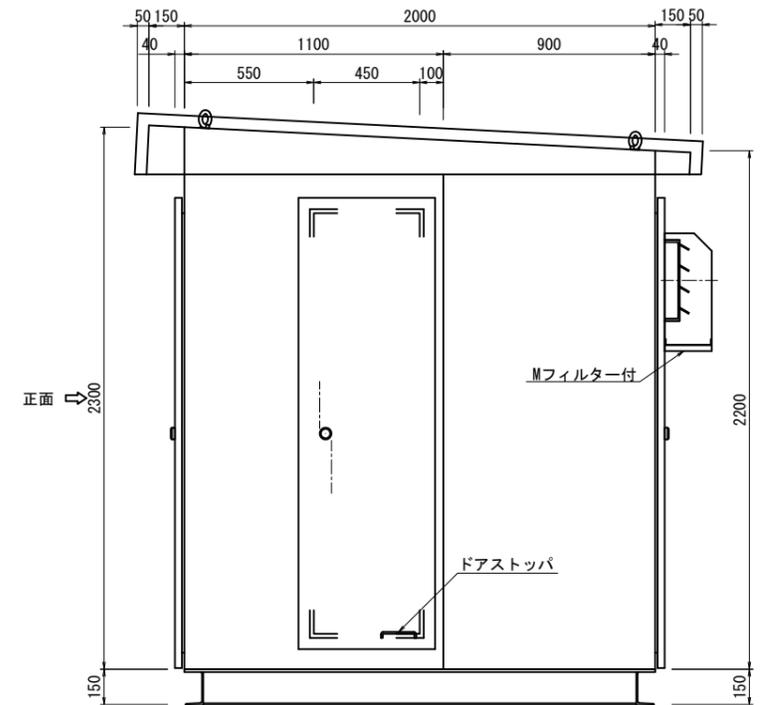
左側面図



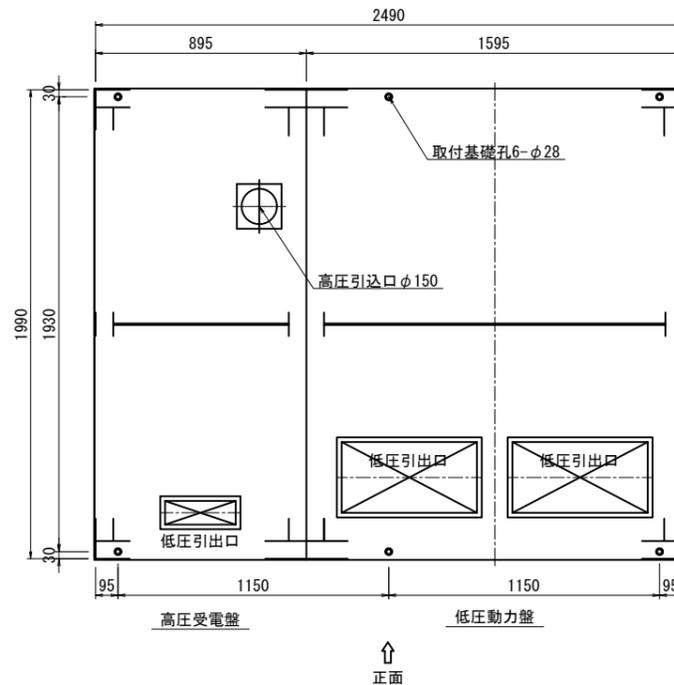
正面図



右側面図



基礎ベース図

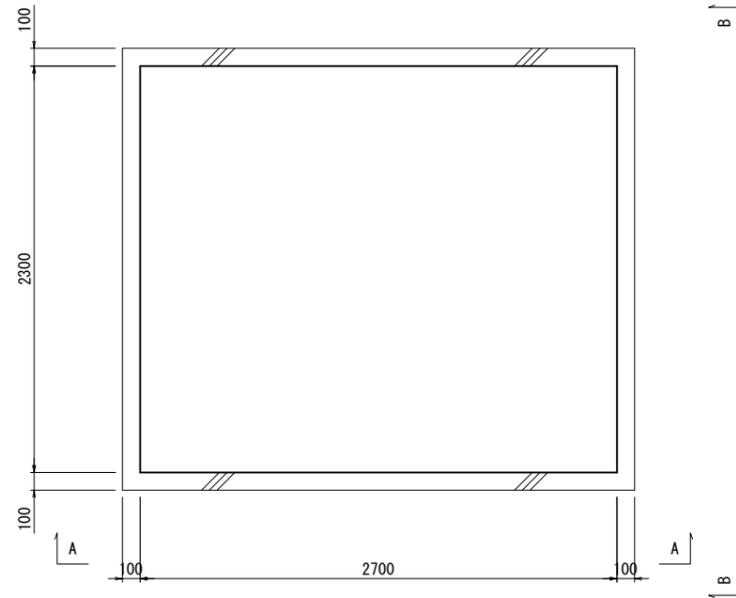


製作仕様		
分割数	本体	2分割
	ベース	一体
扉ロッド棒	片開き扉	有
	両開き扉	有
計器窓	6.8t網入りガラス	
ケーブル入線口	塩ビ板2分割	
ドアストップ	有	
特記事項	本体：溶融亜鉛鍍金後塗装仕上げ	
	CHベース：溶融亜鉛鍍金仕上げ	
	重量：3,600kg(3.6t)	

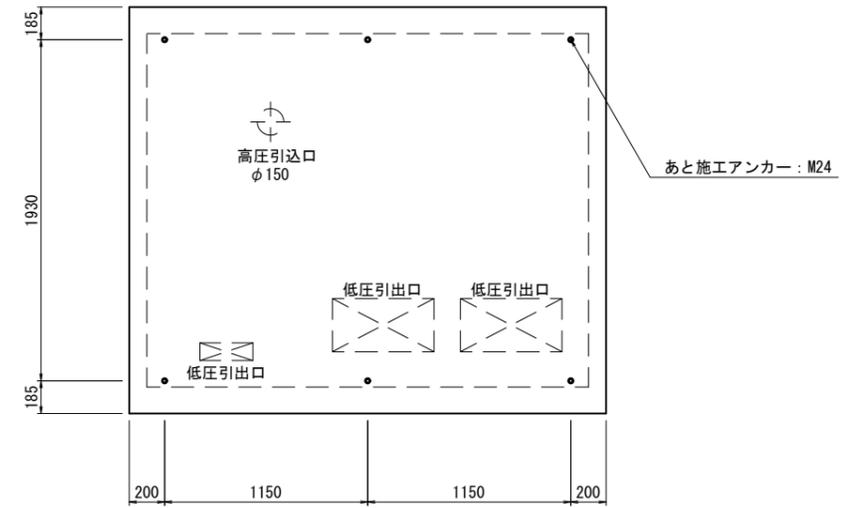
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	高圧受電設備 外形図		
作成年月日	令和7年6月27日		
縮尺	A1 1:15 A3 1:30	図面番号	06/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

高压受電設備 基礎形状図

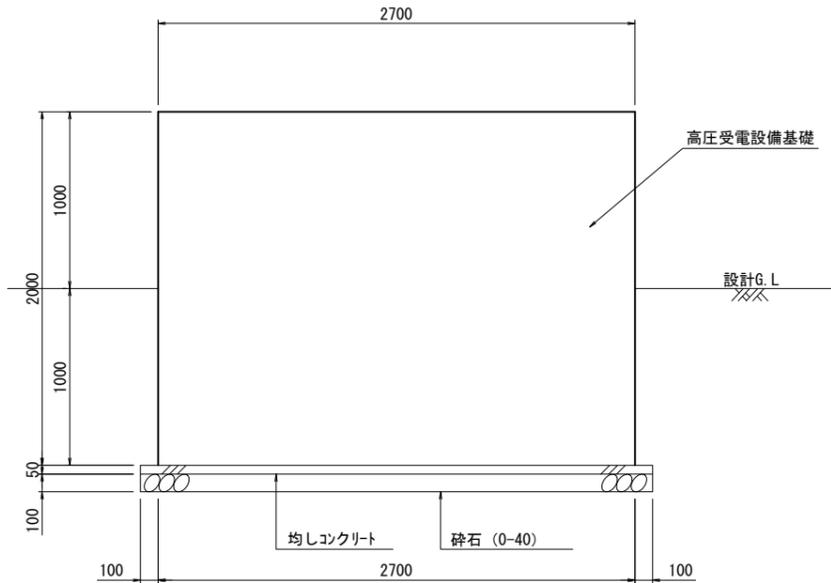
平面図



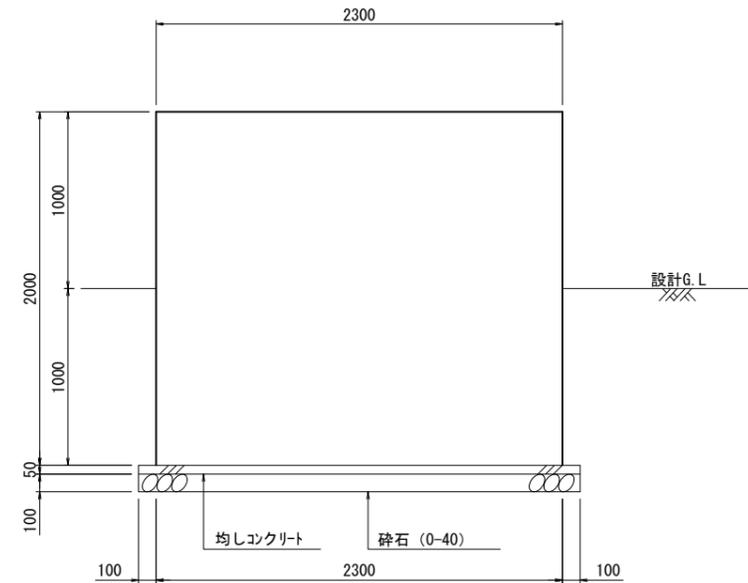
アンカー位置



A-A



B-B



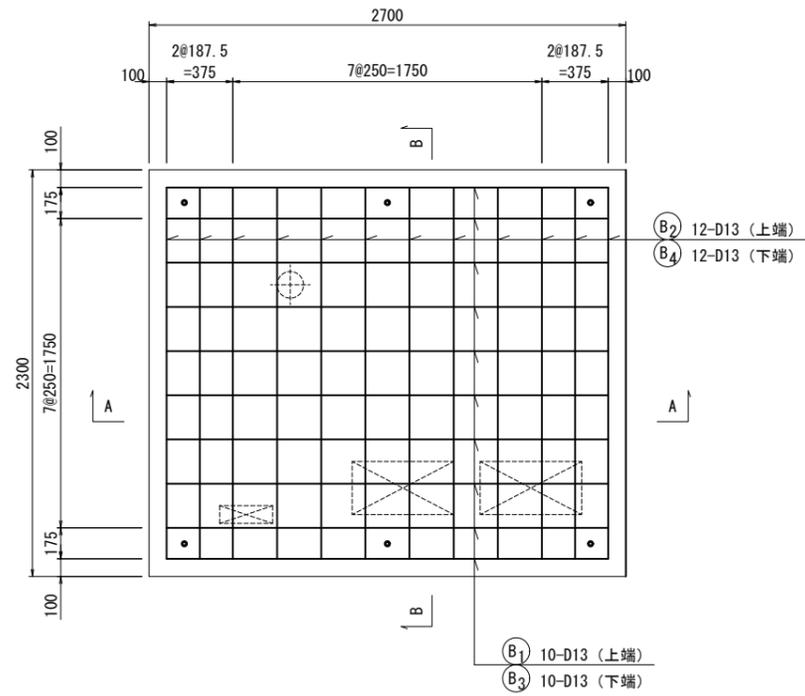
備考

1. コンクリート強度
 コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)

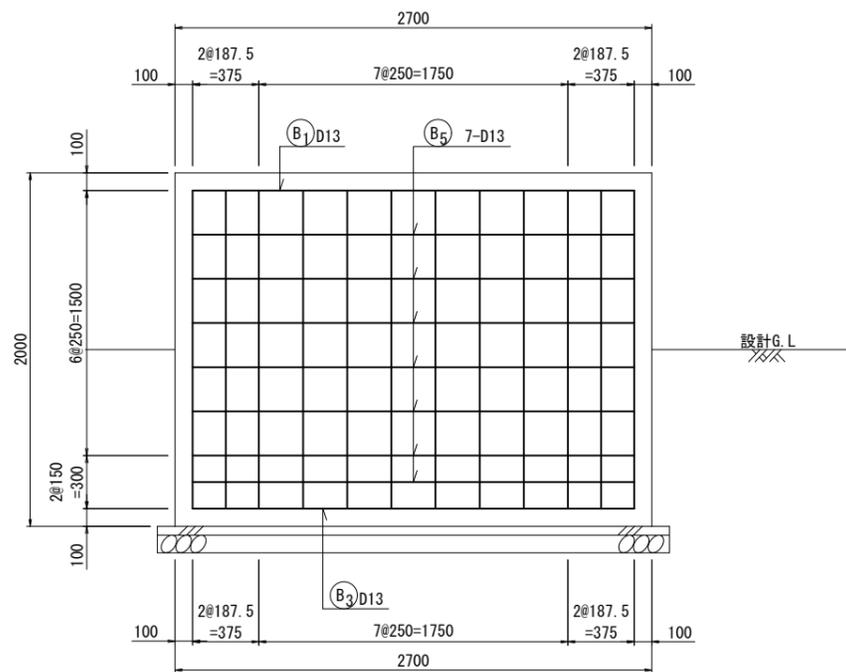
工事名	釧路(部)北埠頭高压受電設備新設等工事		
図面名	高压受電設備 基礎形状図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:20 A3 1:40	図面番号	07/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

高压受電設備 基礎配筋図

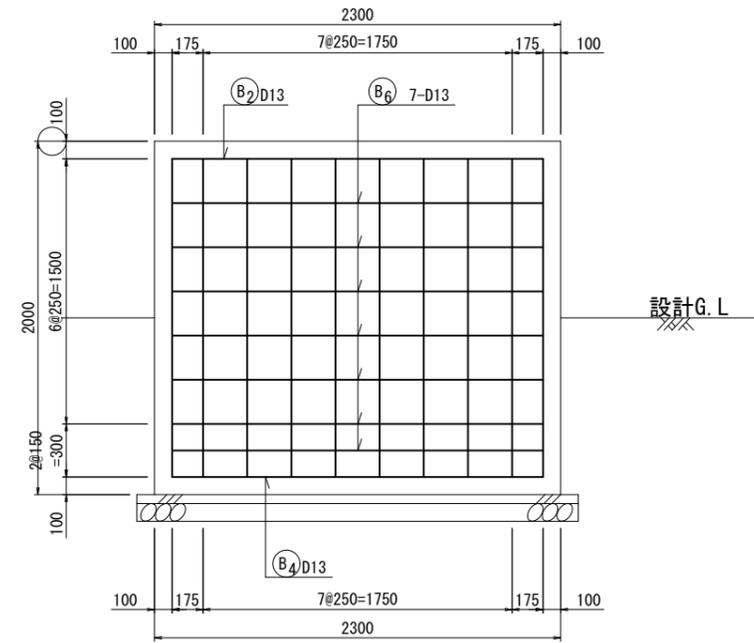
平面図



A-A



B-B

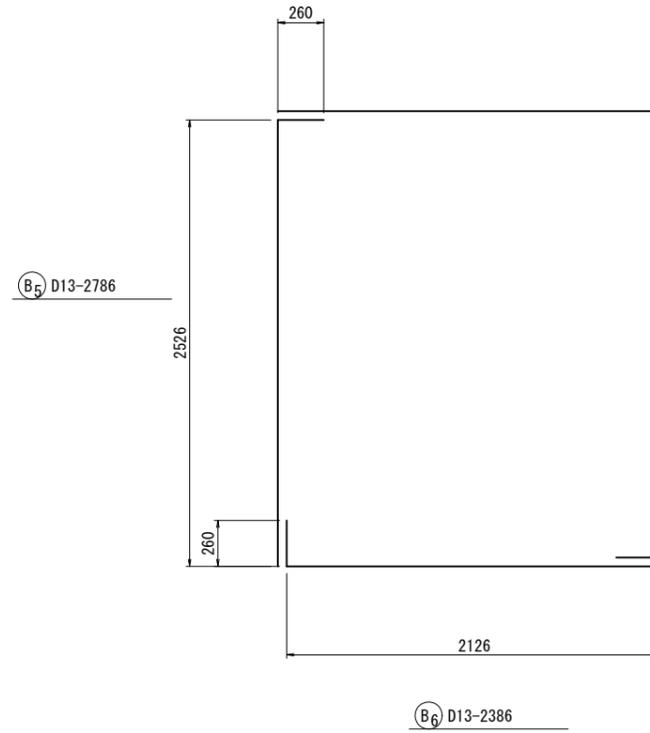
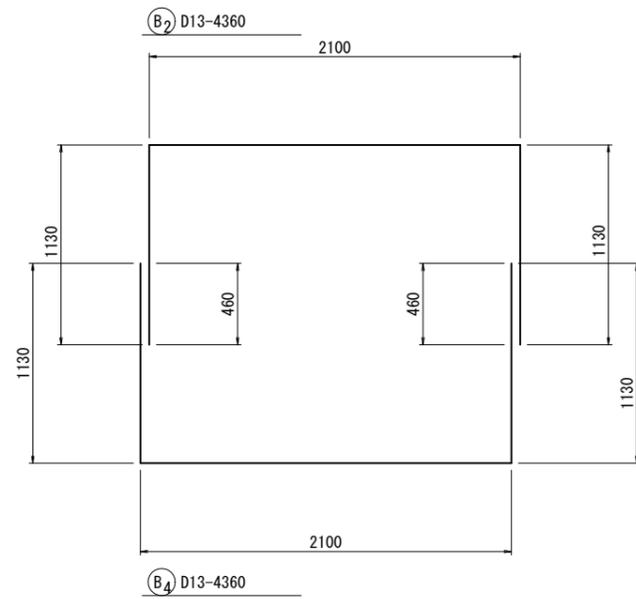
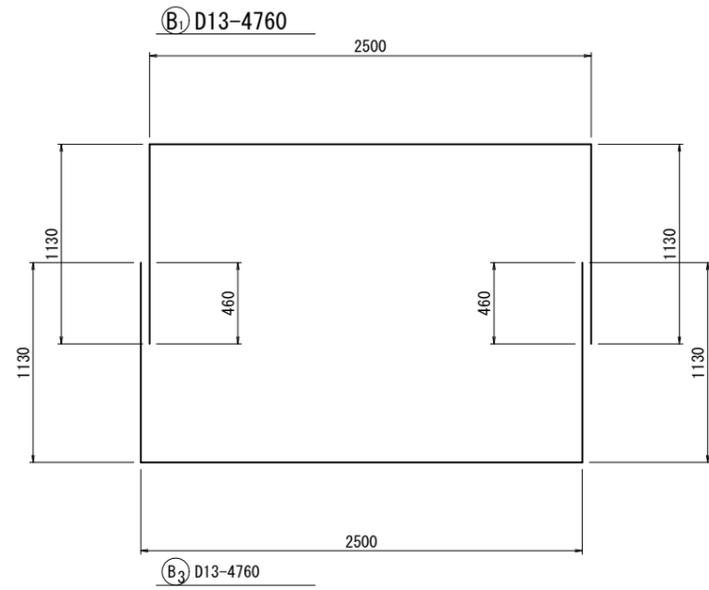


備考

- コンクリート強度
 コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)
- 鉄筋 : JIS G3112 SD295 (D13以下)
- 配筋時にケミカルアンカー打設位置と鉄筋配置を考慮する。

工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	高圧受電設備 基礎配筋図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:20 A3 1:40	図面番号	08/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

高压受電設備 基礎配筋加工図



鉄筋重量表

符 号	径	単重	加工長	本数	加工重量	摘要
	mm	kg/m	mm	本	kg	
B 1	D13	0.995	4760	10	47.4	┌┐
B 2	〃	0.995	4360	12	52.1	┌┐
B 3	〃	0.995	4760	10	47.4	┌┐
B 4	〃	0.995	4360	12	52.1	┌┐
B 5	〃	0.995	2786	14	38.8	┌┐
B 6	〃	0.995	2386	14	33.2	┌┐
計					271.0	kg
D13			271.0	kg		
計					271.0	kg

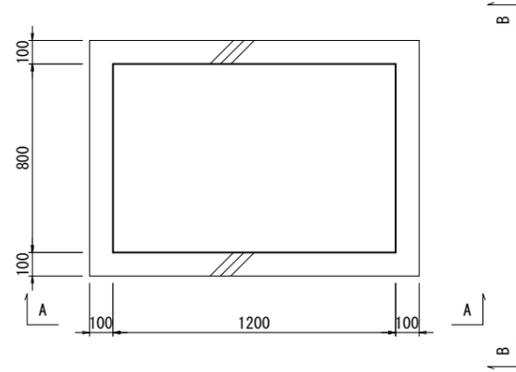
備考

- コンクリート強度
 コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)
- 鉄筋 : JIS G3112 SD295 (D13以下)
- 配筋時にケミカルアンカー打設位置と鉄筋配置を考慮する。

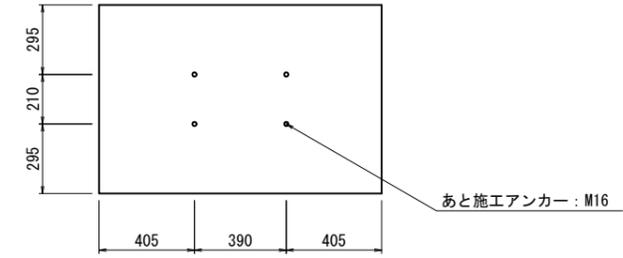
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	高圧受電設備 基礎配筋加工図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:20 A3 1:40	図面番号	09/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

電源供給接続盤 基礎形状図

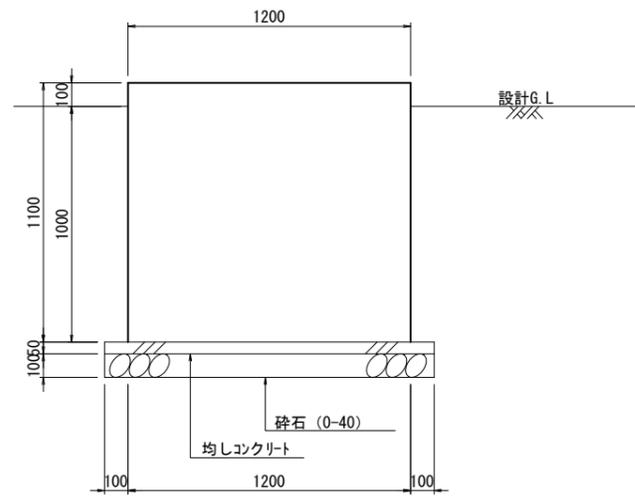
平面図



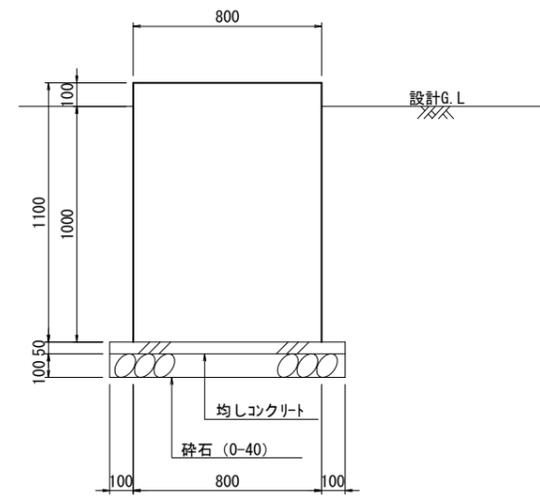
アンカー位置



A-A



B-B



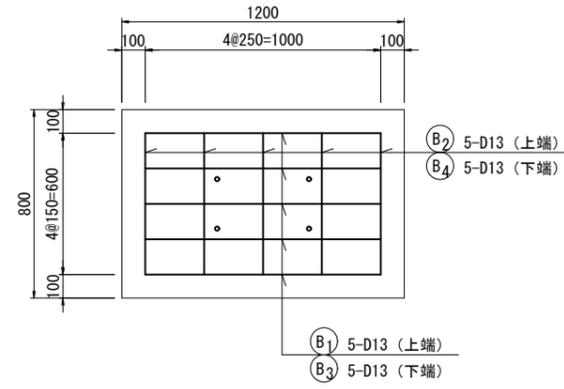
備考

- 1. コンクリート強度
- コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
- 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)

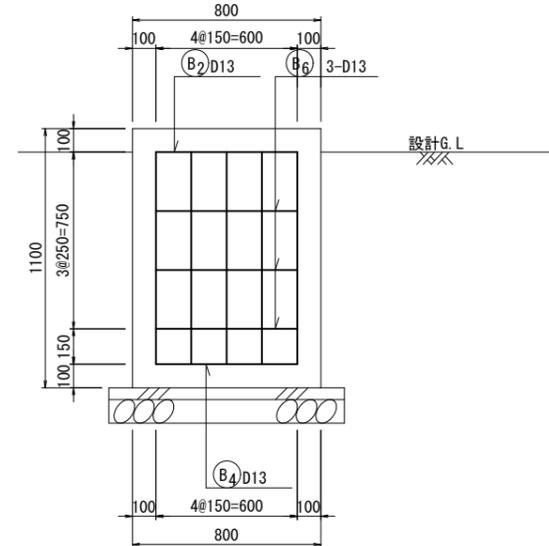
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	電源供給接続盤 基礎形状図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:15 A3 1:30	図面番号	11/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

電源供給接続盤 基礎配筋図

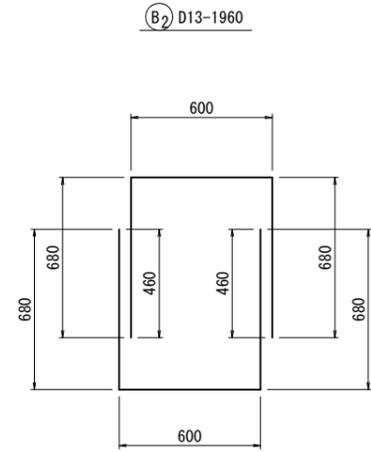
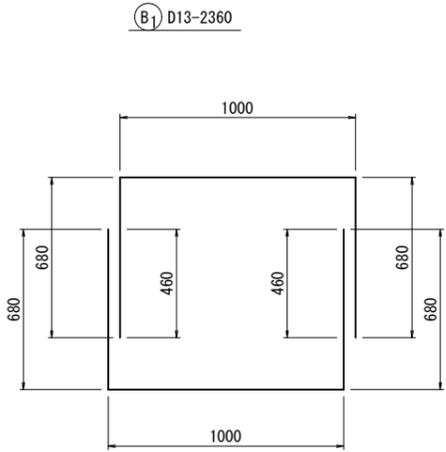
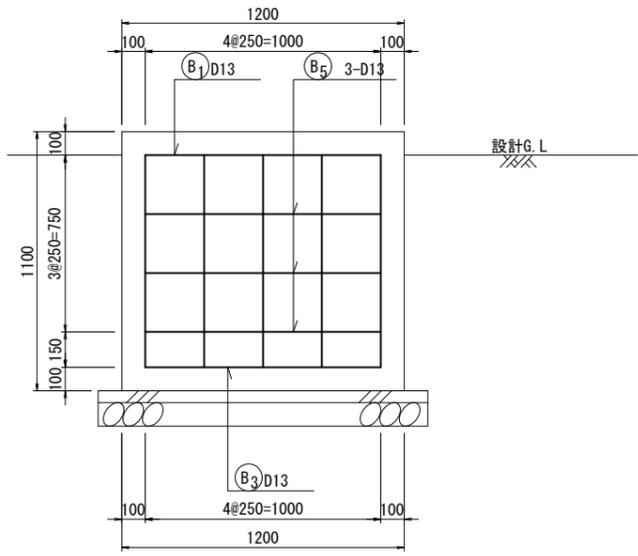
平面図



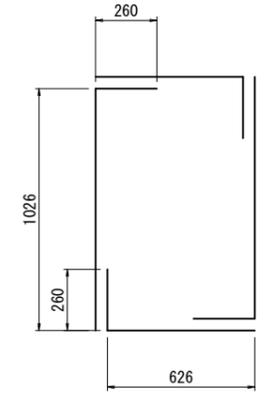
B-B



A-A



B5 D13-1286



B3 D13-2360

B4 D13-1960

B6 D13-886

鉄筋重量表

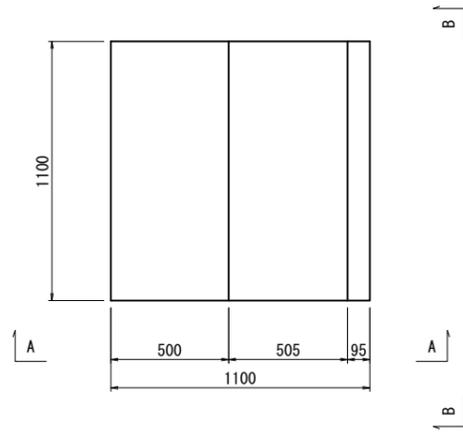
符 号	径	単重 kg/m	加工長 mm	本数 本	加工重量 kg	摘要
	mm					
B1	D13	0.995	2360	5	11.7	┌┐
B2	〃	0.995	1960	5	9.8	┌┐
B3	〃	0.995	2360	5	11.7	┌┐
B4	〃	0.995	1960	5	9.8	┌┐
B5	〃	0.995	1286	6	7.7	┌┐
B6	〃	0.995	886	6	5.3	┌┐
計					56.0	kg
D13			56.0	kg		
計					56.0	kg

- 備考
- コンクリート強度
 コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)
 - 鉄筋 : JIS G3112 SD295 (D13以下)
 - 配筋時にケミカルアンカー打設位置と鉄筋配置を考慮する。

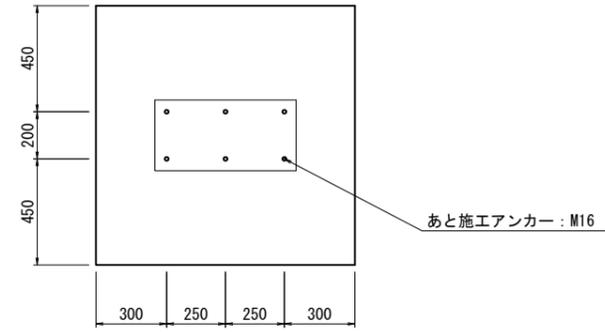
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	電源供給接続盤 基礎配筋図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:15 A3 1:30	図面番号	12/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

コンセントボックス 基礎形状図

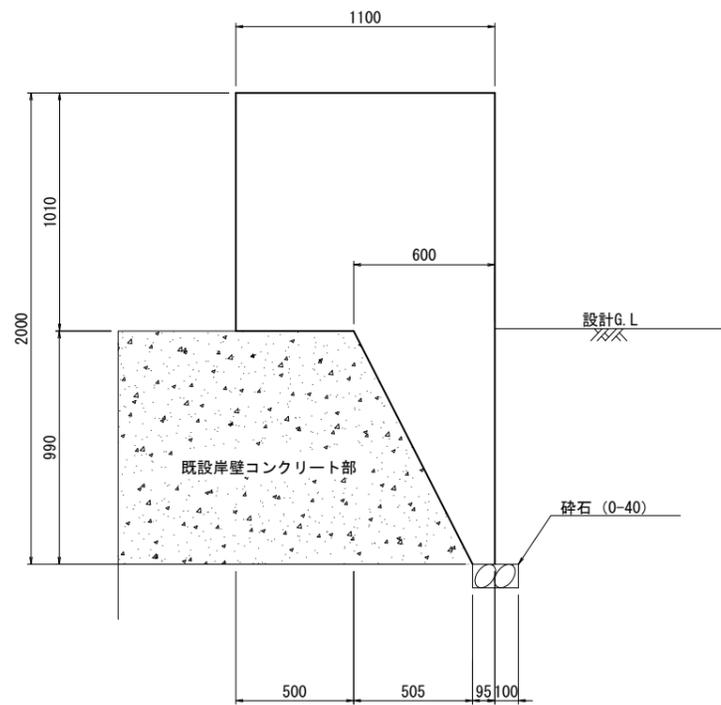
平面図



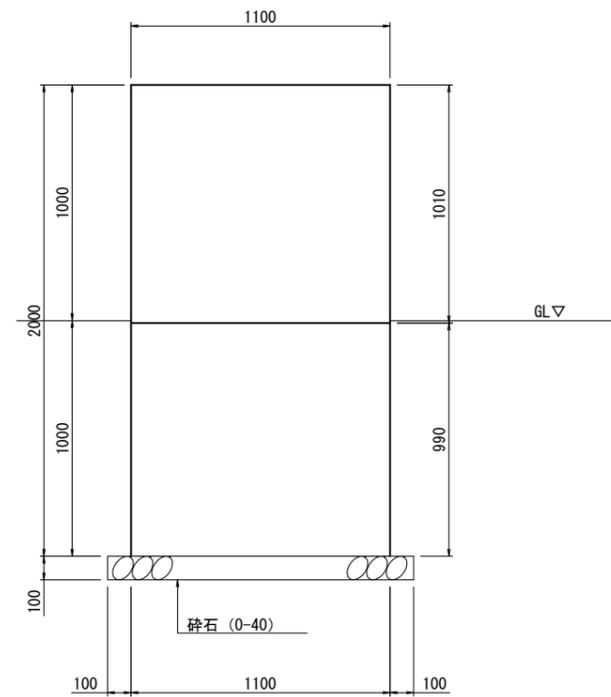
アンカー位置



A-A



B-B



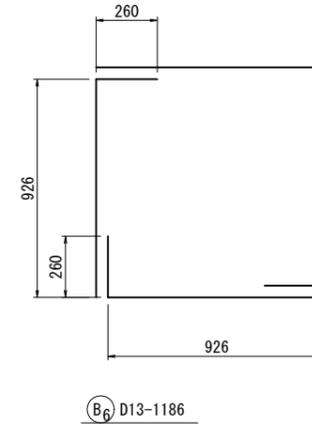
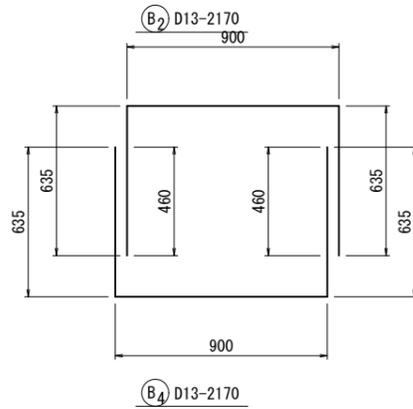
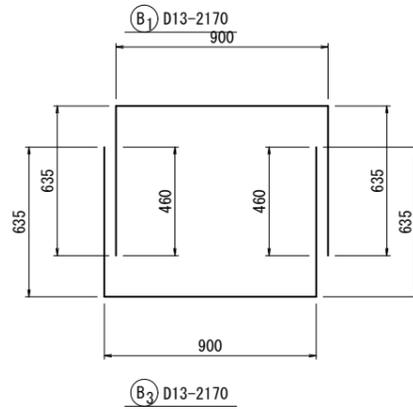
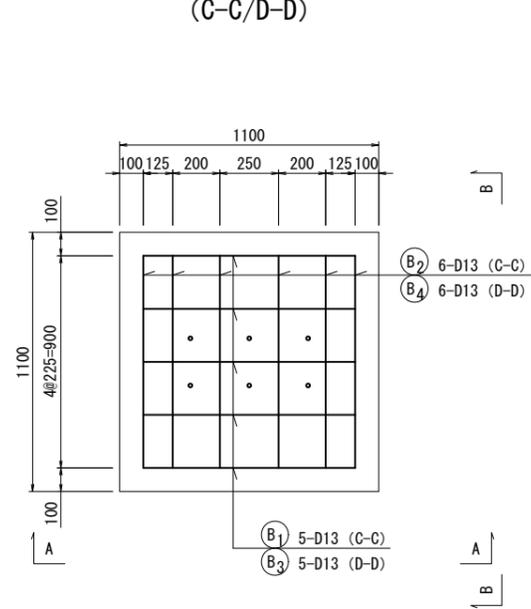
備考

- 1. コンクリート強度
- コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
- 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)

工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	コンセントボックス 基礎形状図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:15 A3 1:30	図面番号	13/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

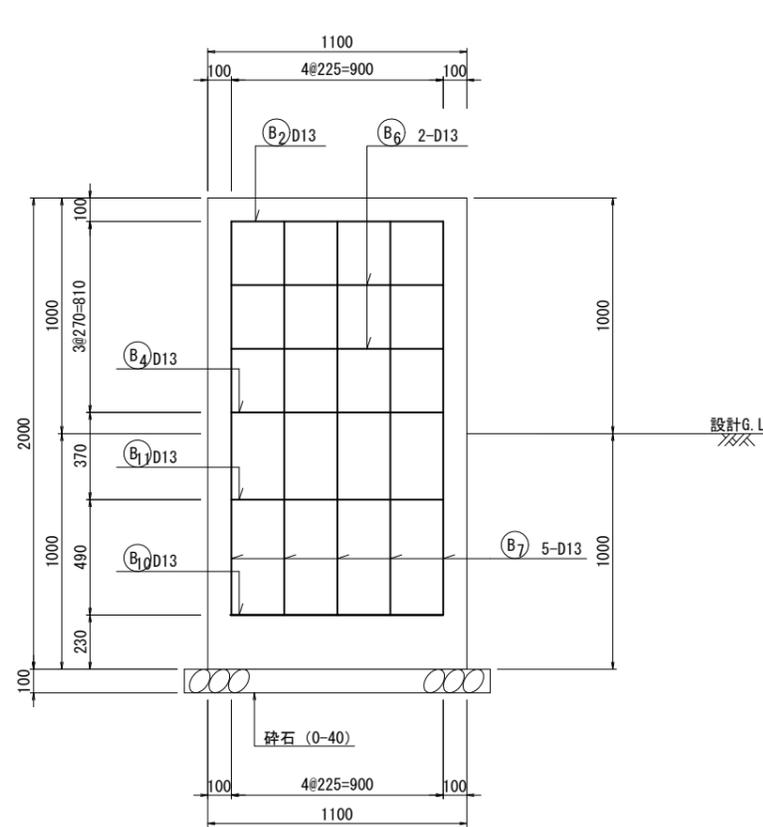
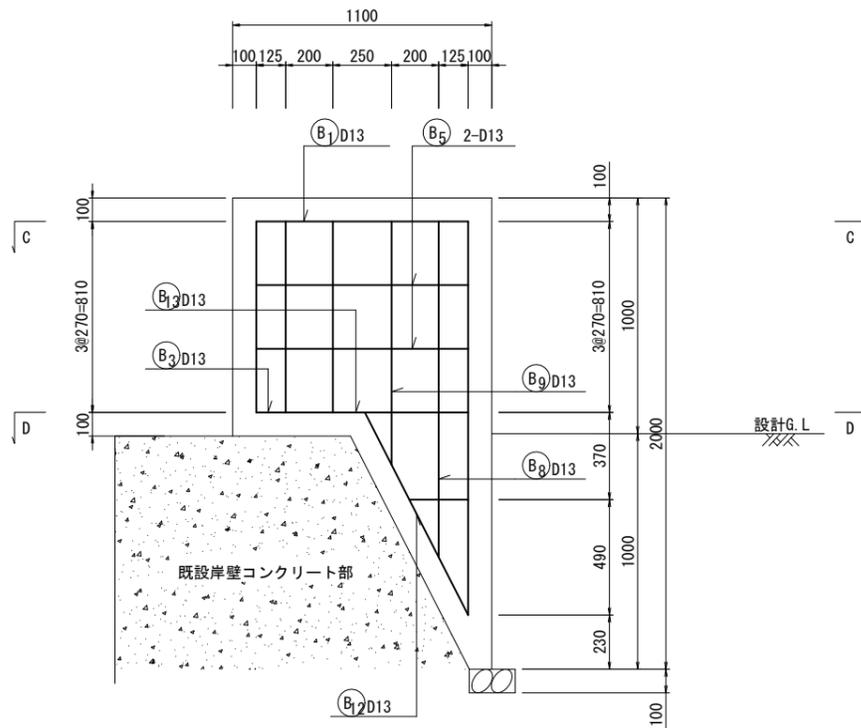
コンセントボックス 基礎配筋図

平面図
(C-C/D-D)



A-A

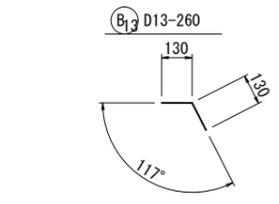
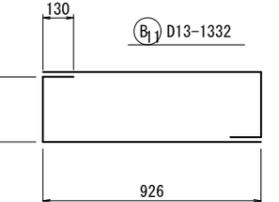
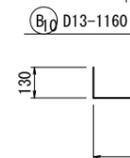
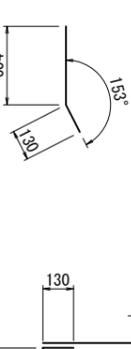
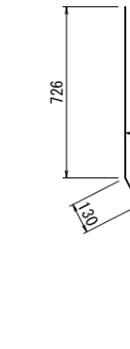
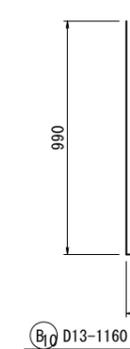
B-B



B7 D13-1120

B8 D13-856

B9 D13-464



鉄筋重量表

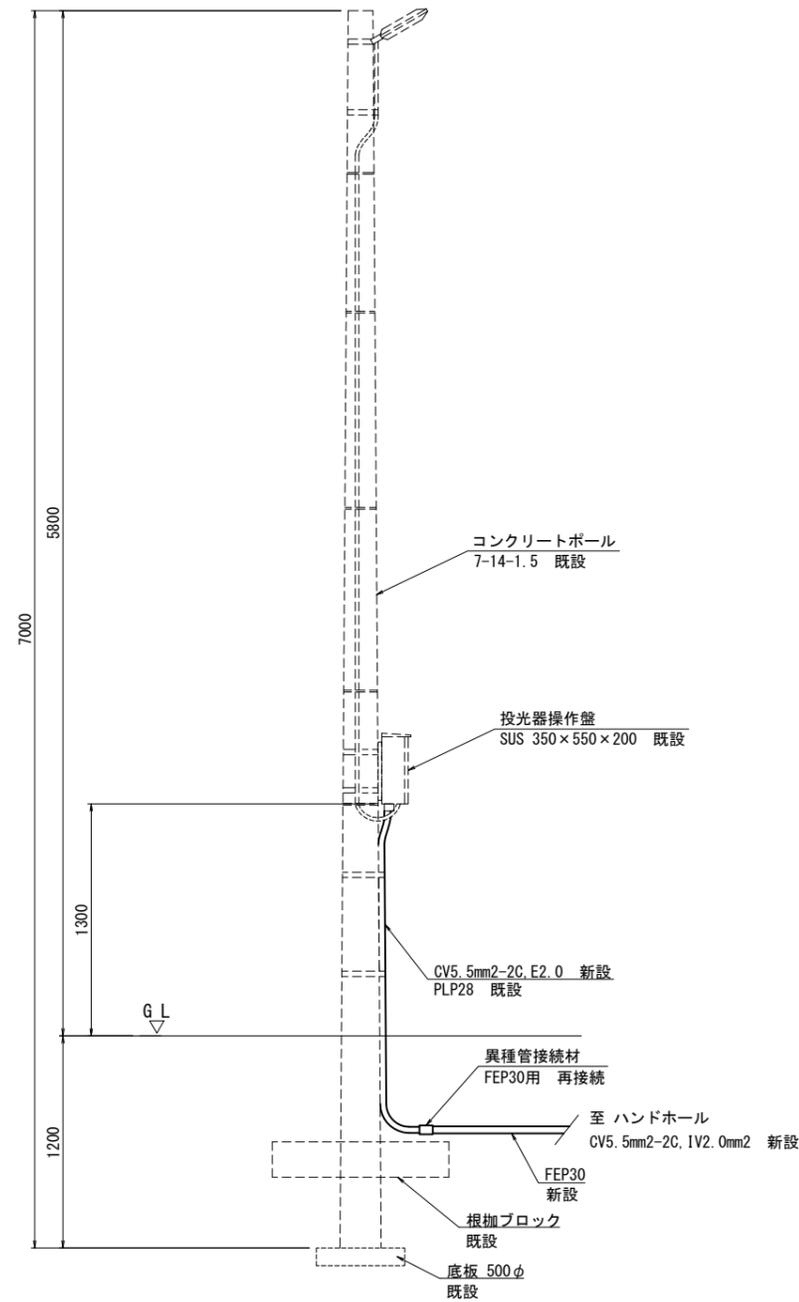
符号	径	単重	加工長	本数	加工重量	摘要	
	mm						kg/m
B1	D13	0.995	2170	5	10.8	┌	
B2	〃	0.995	2170	6	13.0	┌	
B3	〃	0.995	2170	5	10.8	┌	
B4	〃	0.995	2170	6	13.0	┌	
B5	〃	0.995	1186	4	4.7	┌	
B6	〃	0.995	1186	4	4.7	┌	
B7	〃	0.995	1120	5	5.6	┌	
B8	〃	0.995	856	2	1.7	┌	
B9	〃	0.995	464	2	0.9	┌	
B10	〃	0.995	1160	1	1.2	┌	
B11	〃	0.995	1332	2	2.7	┌	
B12	〃	0.995	1095	2	2.2	┌	
B13	〃	0.995	260	2	0.5	┌	
計					71.8	kg	
D13			71.8	kg			
計					71.8	kg	

備考

- コンクリート強度
 コンクリート : $F_c=24N/mm^2$ (設計基準強度)
 均しコンクリート : $F_c=18N/mm^2$ (設計基準強度)
- 鉄筋 : JIS G3112 SD295 (D13以下)
- 配筋時にケミカルアンカー打設位置と鉄筋配置を考慮する。

工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	コンセントボックス 基礎配筋図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:15 A3 1:30	図面番号	14/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

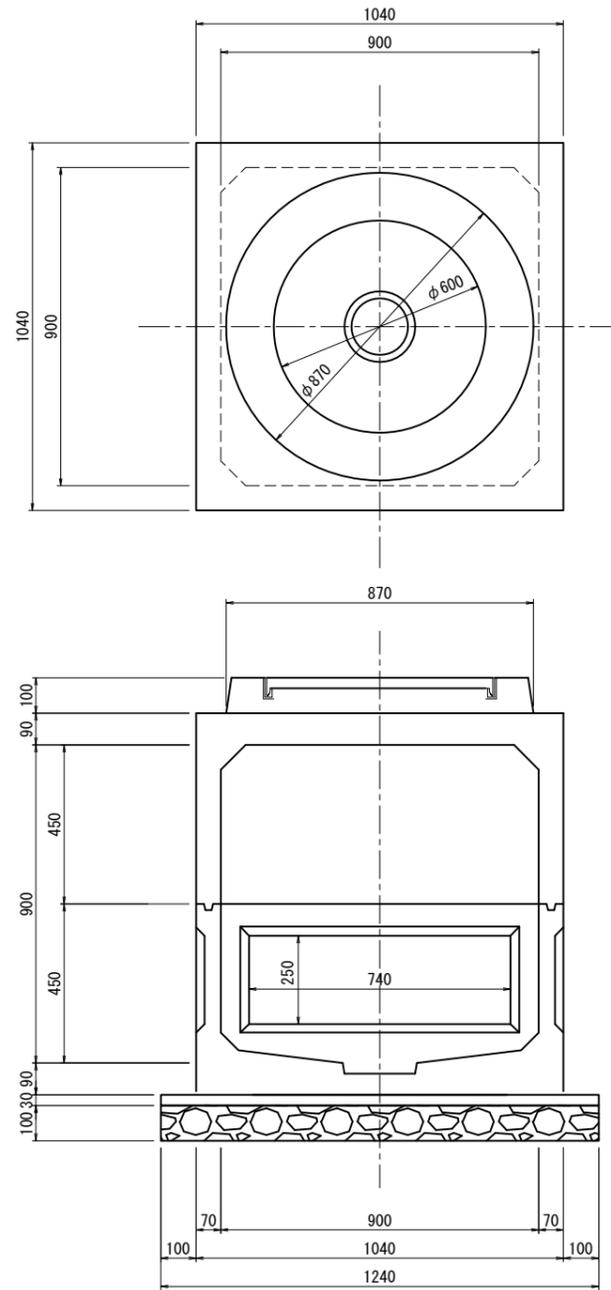
照明柱 新設詳細図



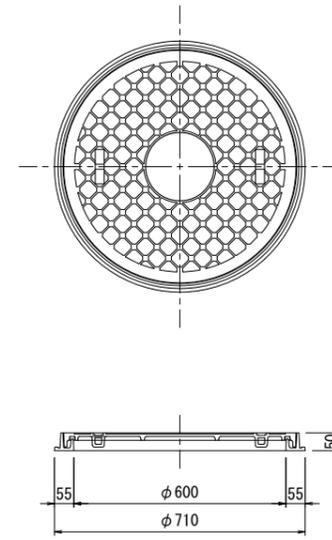
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	照明柱 新設詳細図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:20 A3 1:40	図面番号	15/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

ハンドホール 新設詳細図

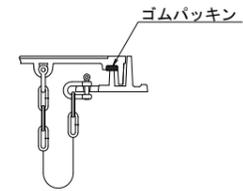
900 × 900 × 900



鉄蓋詳細図
(R8K-60)



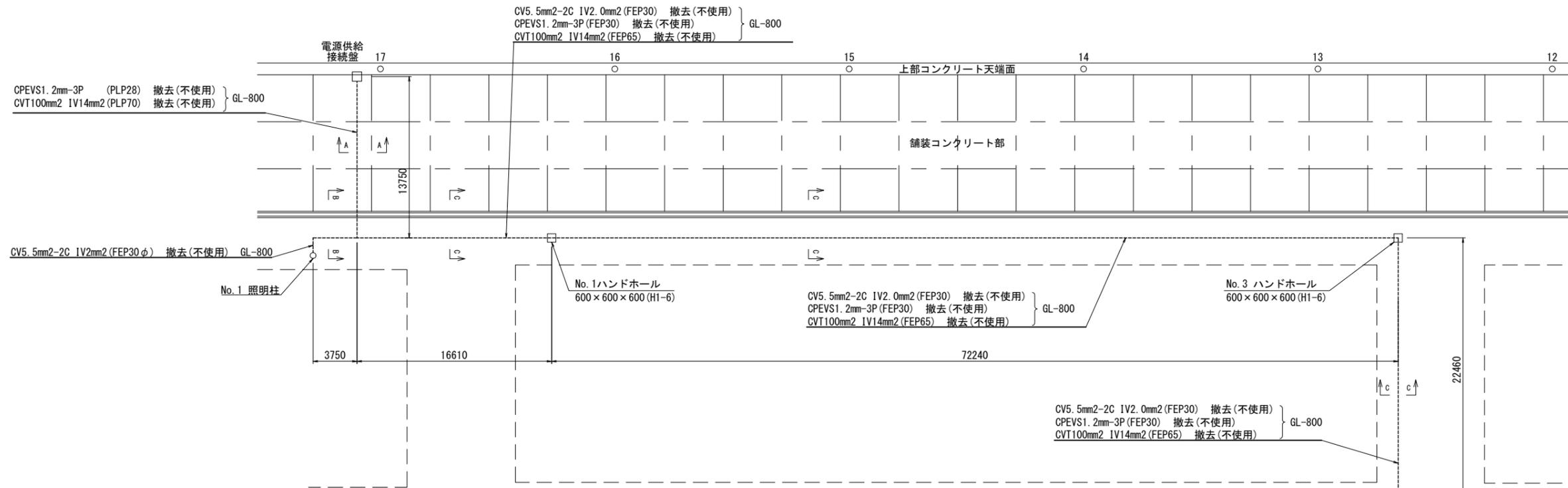
連結部詳細



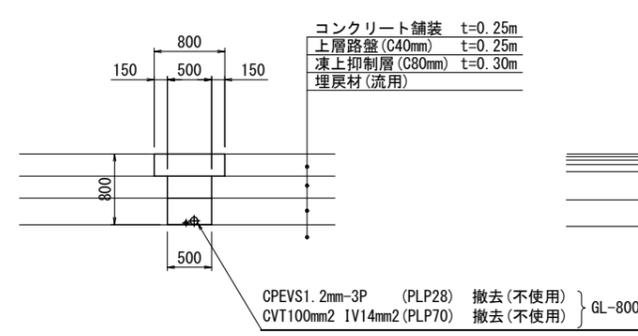
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	ハンドホール 新設詳細図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:10 A3 1:20	図面番号	16/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

巡視船そうや陸電施設 撤去掘削平面図

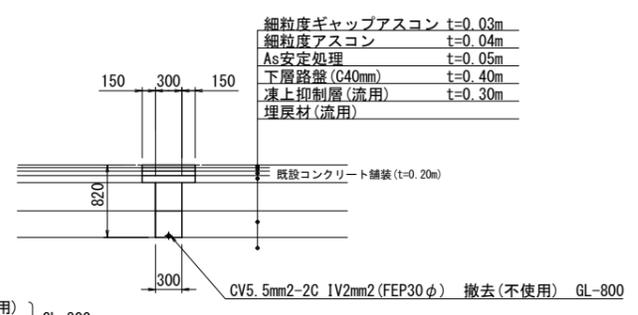
A1 1:200
A3 1:400



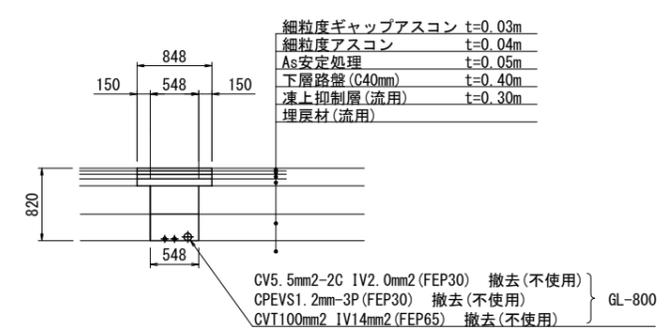
A-A断面 A1 1:40
A3 1:80
コンクリート舗装部



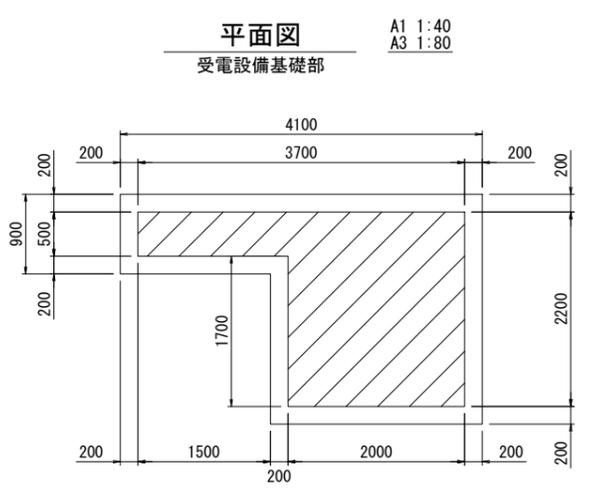
B-B断面 A1 1:40
A3 1:80



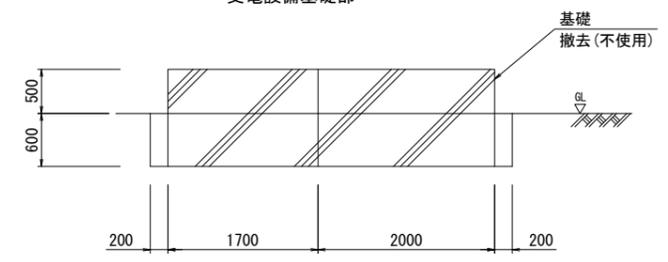
C-C断面 A1 1:40
A3 1:80



受電設備基礎土工図 A1 1:40
A3 1:80



正面図 A1 1:40
A3 1:80
受電設備基礎部



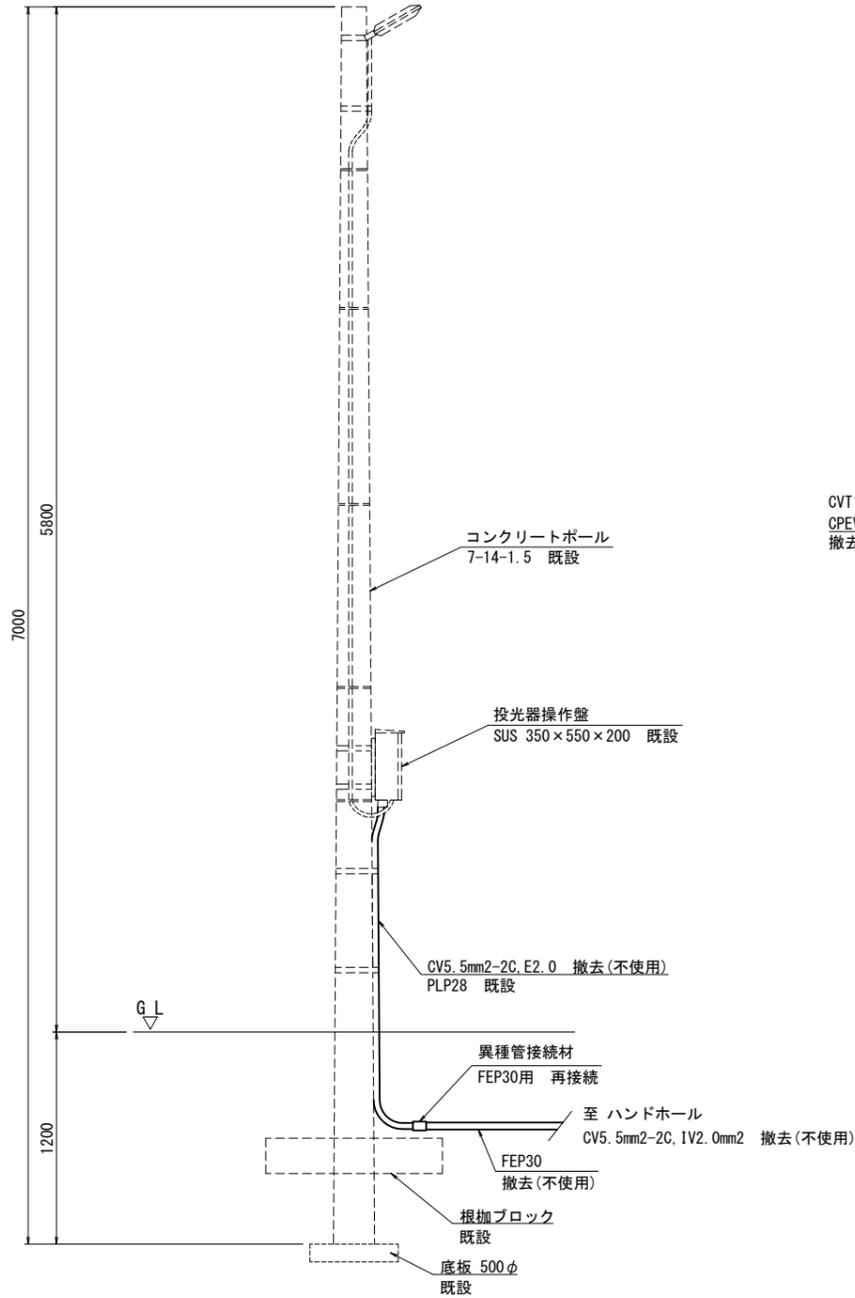
備考

1. 掘削は基本的に手堀により行うこと。重機の使用は発注者指示によること。

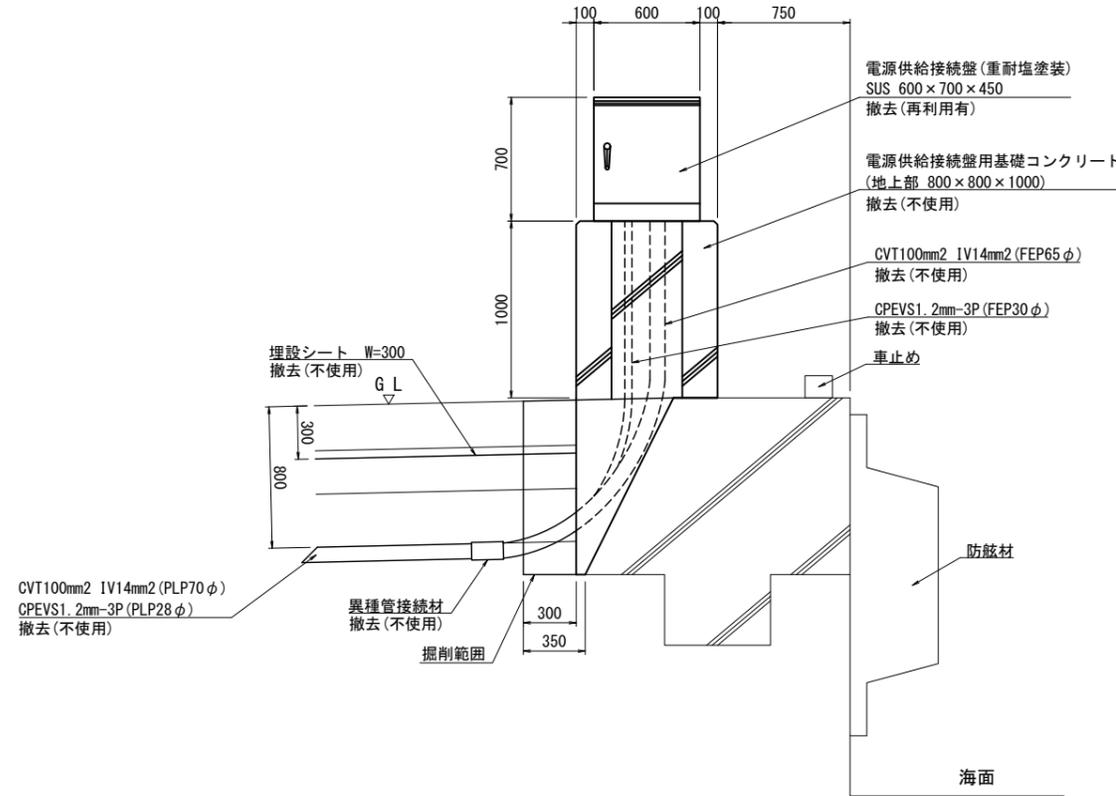
工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	巡視船そうや陸電施設 撤去掘削平面図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	図示	図面番号	18/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

電源供給接続盤・照明柱 撤去詳細図

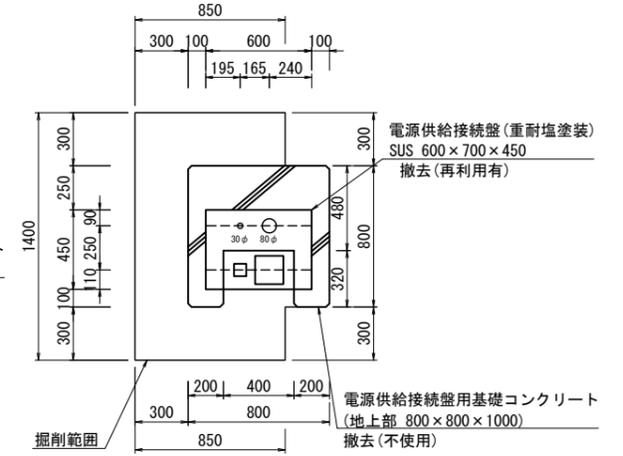
照明柱撤去詳細図 A1 1:20
A3 1:40



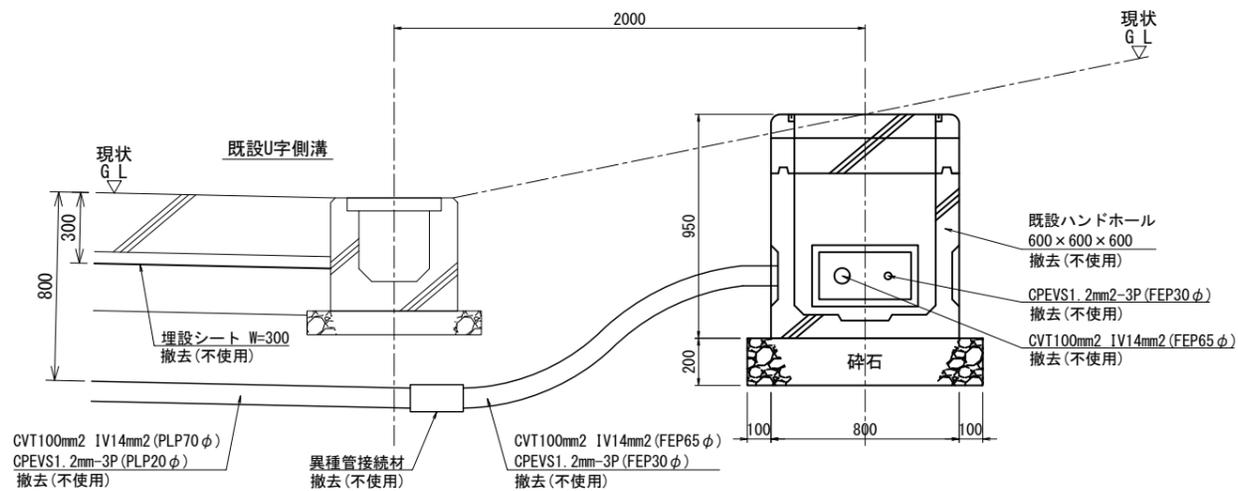
電源供給接続盤詳細図 A1 1:20
A3 1:40



電源供給接続盤見下図 A1 1:20
A3 1:40

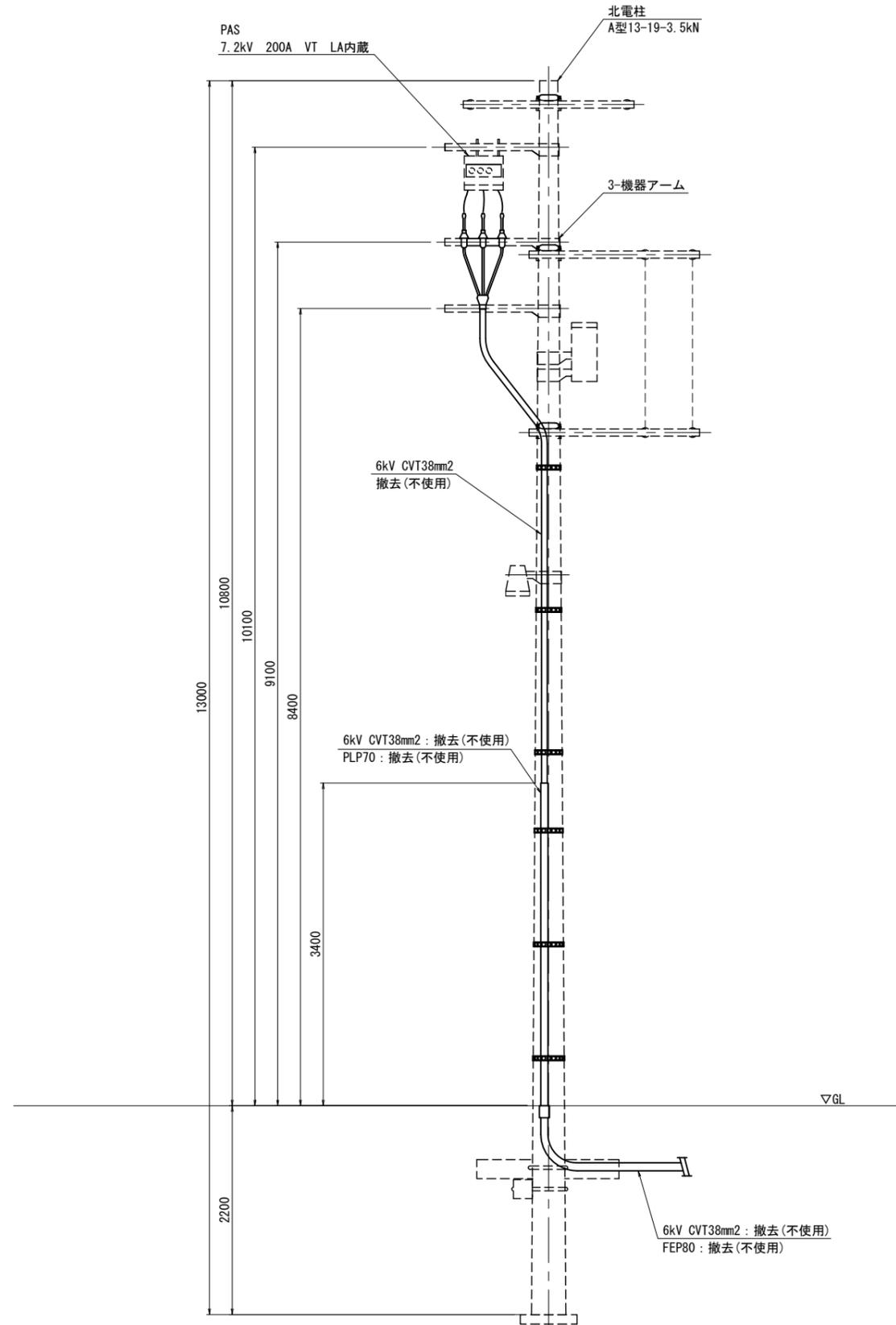


ハンドホール詳細図 A1 1:15
A3 1:30



工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	電源供給接続盤・照明灯 撤去詳細図		
作成年月日	令和7年6月27日		
縮尺	図示	図面番号	19/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

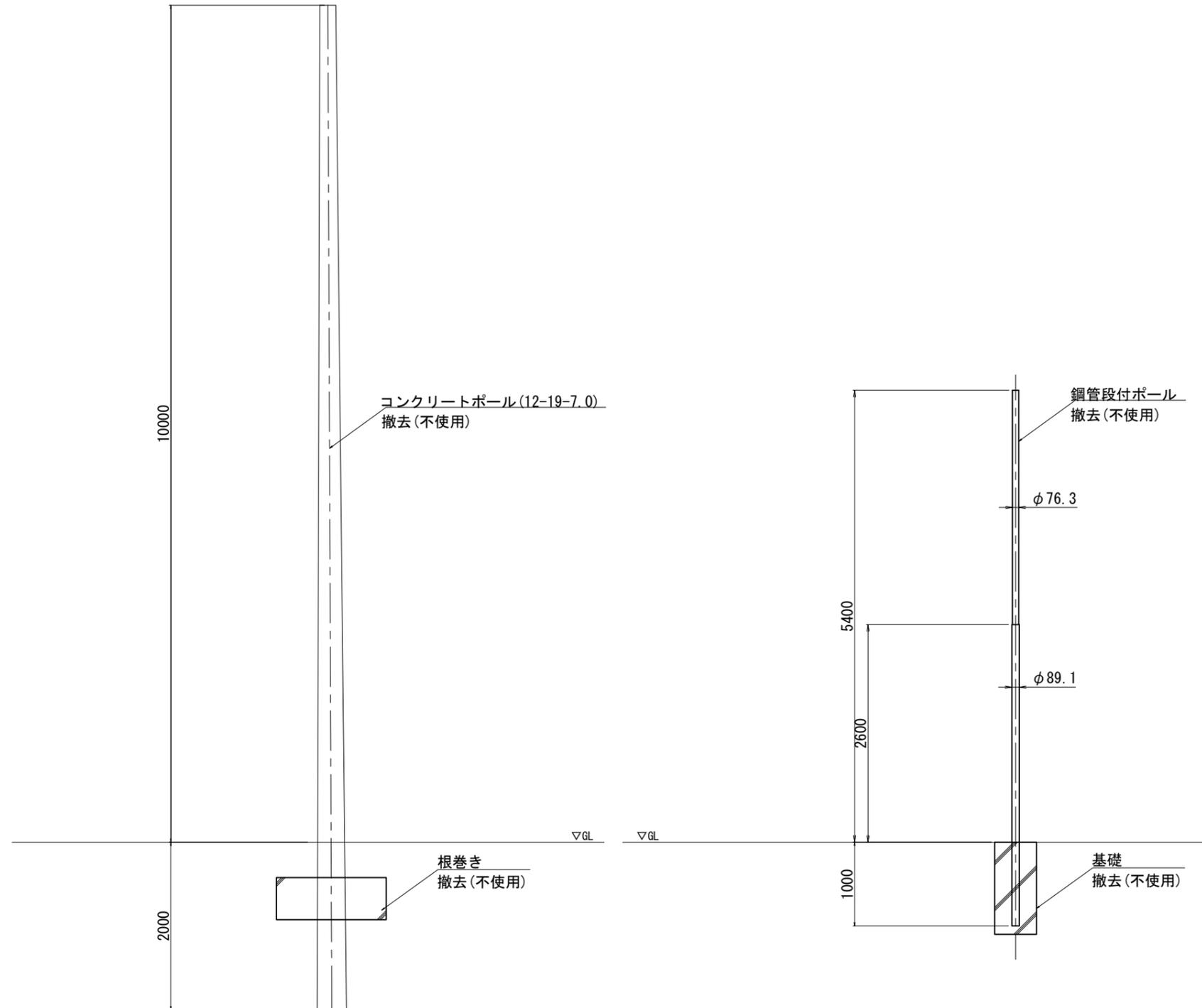
北電柱 撤去装柱図



工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	北電柱 撤去装柱図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:30 A3 1:60	図面番号	20/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

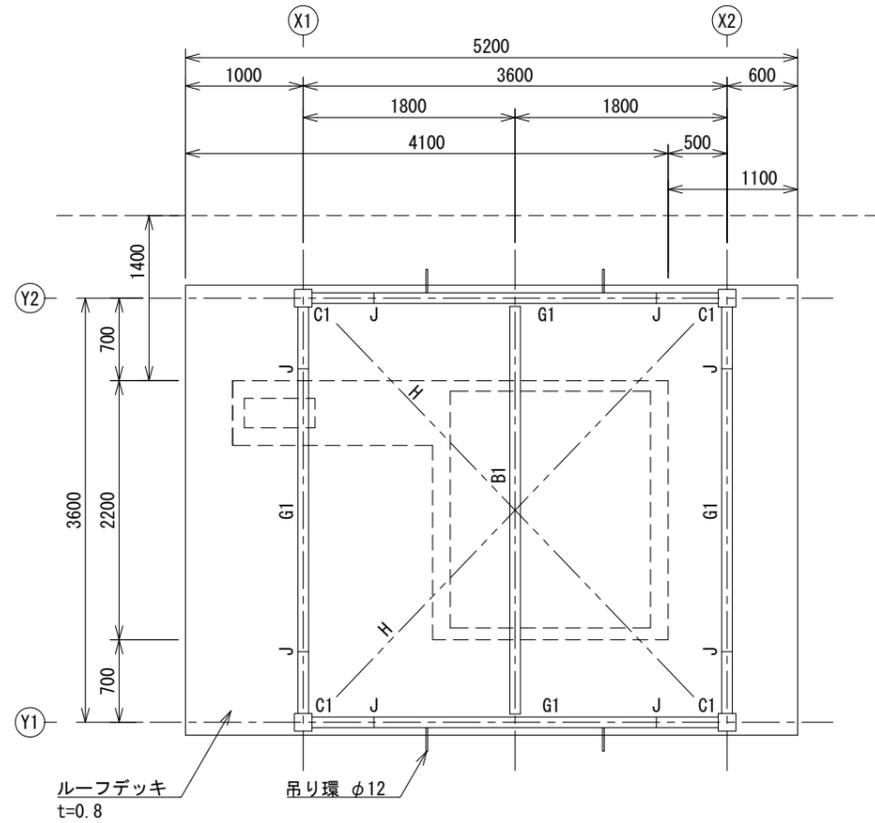
既設引込柱 鋼管段付ポール 撤去図

(参考図)

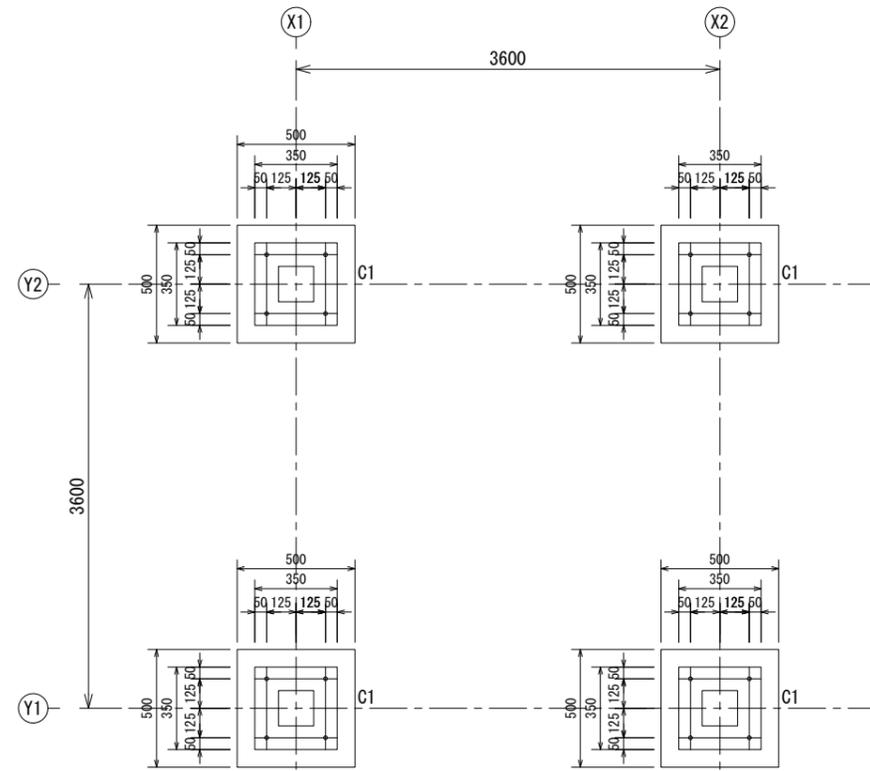


工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	既設引込柱 鋼管段付ポール 撤去図		
作成年月日	令和 7 年 6 月 27 日		
縮尺	A1 1:30 A3 1:60	図面番号	21/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		

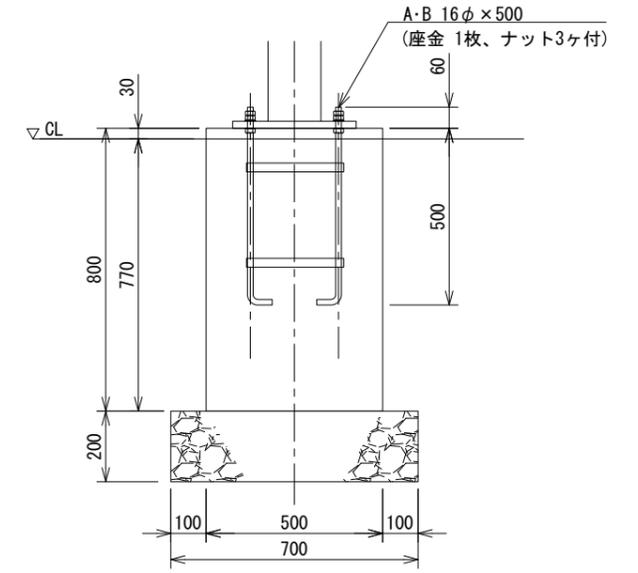
受電設備保護屋根 撤去詳細図



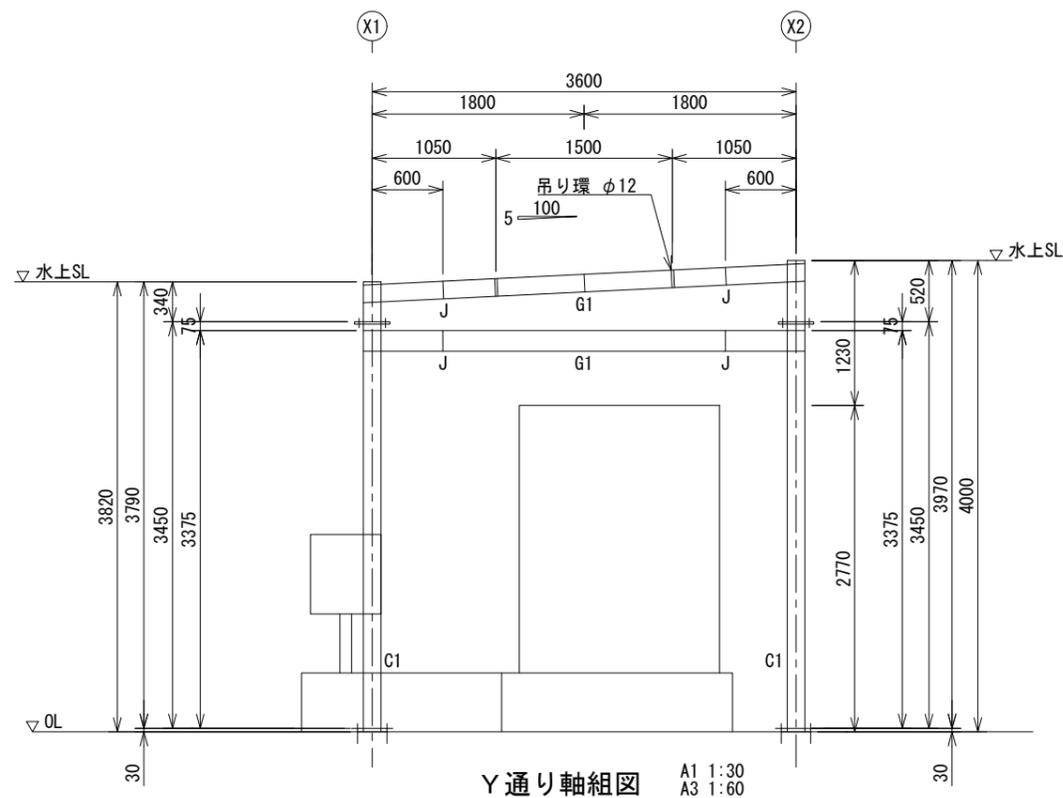
小屋梁伏図 A1 1:30
A3 1:60



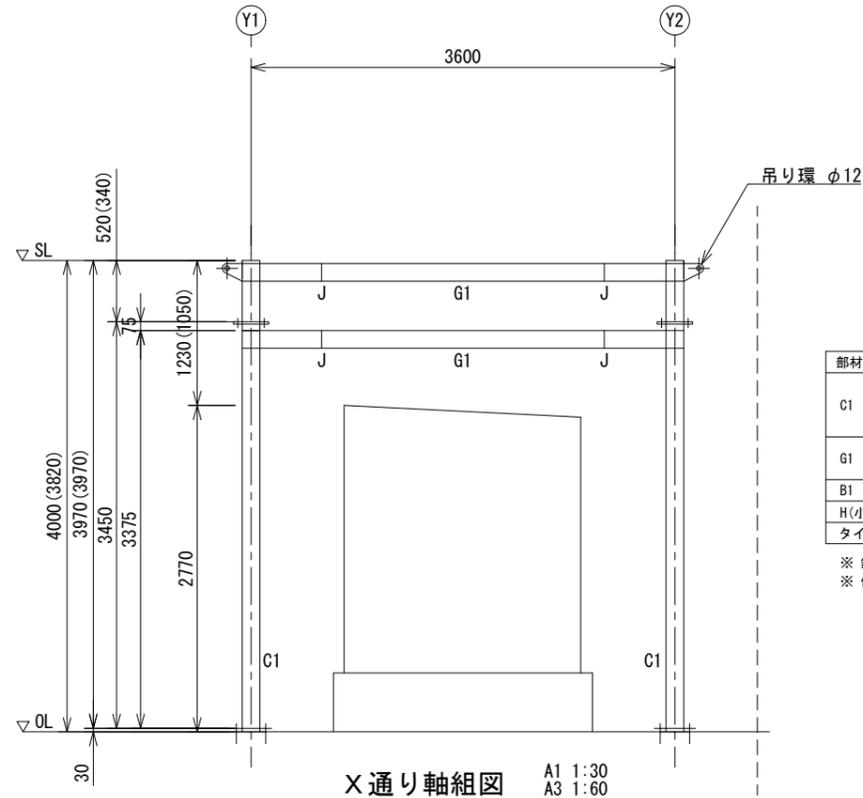
アンカープラン 通り芯 A1 1:30
通り芯 A3 1:60
柱断面 A1 1:15
柱断面 A3 1:30



基礎詳細図 A1 1:10
A3 1:20



Y通り軸組図 A1 1:30
A3 1:60



X通り軸組図 A1 1:30
A3 1:60

部材リスト			
C1	□-150×150×6	DP-9×180×180	HTB 8-M16×50
		Jointo P-9×310×310	A・B 4-16φ×500
G1	H-175×90×5×8	BP-16×350×350	HTB 16-M16×50
		Flg 2P-9×100×285	HTB 4-M16×50
B1	H-150×75×5×7	Web 2P-6×165×140	HTB 2-M16×40
H(小屋ブレース)	RB-16φ (ターンバックル締め)	GP-6	HTB 1-M16×40
タイトフレーム受け	C-100×50×20×2.3	OP-6 FB-6×65×150	建方後現場溶接

※ 鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。
※ 使用ボルトは溶融亜鉛メッキ高力ボルトとする。

工事名	釧路(部)北埠頭高圧受電設備新設等工事		
図面名	受電設備保護屋根 撤去詳細図		
作成年月日	令和7年6月27日		
縮尺	図示	図面番号	22/22
会社名	株式会社 通電技術		
事業者名	第一管区海上保安本部		